

令和6年度生涯学習センター事業実施報告書

生涯学習課

目次

中央生涯学習センター	1
東生涯学習センター	3
西生涯学習センター	5
南生涯学習センター	7
北生涯学習センター	9
平石生涯学習センター	11
清原生涯学習センター	13
横川生涯学習センター	15
瑞穂野生涯学習センター	17
城山生涯学習センター	19
国本生涯学習センター	21
富屋生涯学習センター	23
豊郷生涯学習センター	25
篠井生涯学習センター	27
姿川生涯学習センター	29
雀宮生涯学習センター	31
上河内生涯学習センター	33
河内生涯学習センター	35

基本方針	
<p>市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を構築する契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	金曜まなび塾	行政等が実施する活動や施策についての学習に加え、市民の生活課題になっている事柄や社会情勢の変化に対応した内容の拡充、企業等と連携した講座を企画する。また中央生涯学習センターの立地を活かし、地域の伝統・文化・モノづくり・人づくりを学習することで、受講生の知識・識見の向上につなげ、生きる価値観向上のきっかけとする。	市内在住・在勤の成人	7～12月	10回	【実施日】 令和6年7月26日 ～ 令和6年12月20日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 423人 0人 60代	【今年度の実施状況】 「知られざる・知ってほしい宇都宮の魅力」を中心に据え構成した学習講座で概ね好評であった。今年度はコロナが落ち着いた状況を受け試験的に60名(定員をコロナ禍以前に近い)の受講者を募った。結果講座によってはテーブル等の機材が不足する場面があった。	【次年度の方向性】 成人向けの看板講座であり、毎年定員を超える応募がある。当市が推進している宇都宮の特徴を中心に、また当センターが立地している地域の話題も織り込みながら継続して実施する。また実施時間の検討も視野に入れ実質2時間の講座運営を検討したい。また定員は40名の募集とする。
	地域連携特別講座	ICTの活用も図りながら、多様な地域課題の解決や情報共有の機会をさらに幅を広げ、学校や地域まちづくりと連携できる企画をする。	市内在住・在勤の成人	3月	1回	【実施日】 令和7年3月6日 ～ 令和7年3月6日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 16人 -人 70代	【今年度の実施状況】 地域の共通した課題に焦点を当て、コミュニティセンターや地域住民と一緒に学ぶ機会を再度設けるとともにまちづくり活動の関わりや協力などを含め、担い手不足などの地域課題について具体的な実施方法を学ぶため、地域教育と学校教育に携わっている方からコミュニティを学ぶ。	【次年度の方向性】 ZOOMなどのオンライン技術を継続して活用し、地域との連携と情報交換の場として学習機会を提供するため継続とする。
	修道館アカデミー【Vスタッフ】	人材かがやきセンターに登録しているVスタッフに活動の場を提供し、市民目線での講座の企画を行う。内容については、多様な市民ニーズに対応するための企画を充実させる。	市内在住・在勤の成人	6月	3回	【実施日】 令和6年6月4日 ～ 令和6年6月25日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 70人 0人 60,70代	【今年度の実施状況】 今年本講座はVスタッフ「宙(そら)」提案により企画した。前年度秋に応募企画が無く、市民大学提案への流れの中で成立した。シリーズを通して共通のテーマで成立させることが可能な講座なので注視していきたい。	【次年度の方向性】 例年通りのタイムスケジュールであるならば、次年度の企画は今秋に提案されることから、速やかに精査・確認し速やかに対応する必要がある。また、単一のテーマでも対応可能な講座であるので常に副案をもって対応していく。
	◎いきいきシニアアップ講座	人生100年時代を迎え、より良い豊かなセカンドライフを送れるよう、学びあう人の輪の構築に努める。超高齢社会に受講生が生きがいを保ちながら生活するための素材・素地として、健康づくりや趣味・教養に幅広く興味を持つ学習機会を提供する。	市内在住の65歳以上の一般成人	1月～2月	5回	【実施日】 令和7年1月22日 ～ 令和7年2月26日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 153人 -人 60～代	【今年度の実施状況】 当講座にあたり、同世代の交流、人生100年を楽しむための楽しみ・安全安心・健康・生活の利便性の向上を目指した。ほぼ目的は達成できた。開催時期と寒い時期が重なり出席率が7割程度となった。	【次年度の方向性】 アンケートを基に満足度の高い講座を展開したい。また同世代の生涯学習団体の活動と講座を結び付け生涯学習への参加を促したい。
	◎中央生涯学習センタースマホ講座	公共施設予約案内システムを導入し、利用者に活用してもらえよう、デジタル機器への対応方法や基本操作などを実演し、体験する。	市内在住者	6～2月	2回	【実施日】 令和6年6月1日 ～ 令和7年2月19日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 31人 0人 70代	【今年度の実施状況】 スマホ講座の受講者の幅広い周知と、公共予約システムと併せた活用を進めていく。	【次年度の方向性】 公共施設利用システムの利用者が今後さらに増えることで、スマホ講座の必要性があることから、継続して実施する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の	子育て広場	子育て世代の悩みやニーズを捉えた講座を実施するため、子育て相談員の配置や、親子同士の交流の場を拡充し、気軽に情報が得られる環境を整え、家庭教育の問題解決や支援に繋げる。また、ICTの活用も取入れる企画を検討し、在宅でも気軽に受講できる機会をつくる。さらに月に1度読み聞かせボランティアが実施している「おはなしひろば」の周知をするとともに、年齢層に合う読書の機会を設ける。	乳幼児(0～6)歳児とその保護者	5～12月	5回	【実施日】 令和6年5月15日 ～ 令和6年12月18日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 宇都宮ビジネス電子専門学校 幼児保育ビジネス科 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 206人 99人 30代	【今年度の実施状況】 受講生の満足度が高い講師に来てもらい、より充実した内容で開催することが出来た。今年度は身体を動かす講座が少なかったため、来年度はバランスよく組み立てる必要がある。	【次年度の方向性】 一定のニーズがあり、孤立しがちな未就学児保護者のコミュニティの形成の一助となる講座であることから、継続して実施する。
	パパママもはぐはぐ子育て	子育て情報交換の場の提供。父親に参加してもらい、母親の育児ストレス軽減やリフレッシュできるような機会を提供するプログラムとなるよう、更なる内容の充実にも努める。また、地域専門学生のボランティア参加をすることで、学生との交流が生まれ、学びとふれあいの場とする。	乳幼児(0～6)歳児とその保護者	6～12月	2回	【実施日】 令和6年6月9日 ～ 令和6年12月8日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 宇都宮ビジネス電子専門学校 幼児保育ビジネス科 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 104人 40人 30代	【今年度の実施状況】 前半プログラムは、機材搬入等大がかりな準備が必要なので、前日から部屋を確保し、講師と細かく連絡をとり準備を進めることが出来た。後半プログラムは、父と子がリトミック、母が別室でパーソナルカラーについての座学を実施したが、母講座については、今年度は2人体制で運営したので、父講座と連絡が取りやすく、自由に動くことが出来た。	【次年度の方向性】 父親が参加することで、母親の育児ストレスの軽減やリフレッシュする機会を提供していく必要があることから、継続して実施する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
推進	◎親子のワクワク体験講座	子どもたちの社会性の向上や生きる力の実践スキルを養うため、日常生活で体験できない内容や体験の機会を盛り込むとともに、参加者同士の交流の更なる促進を図り、親子の絆を深めていけるよう努める。また、図書室と連携し、本への関心を持つきっかけとなるよう、資料や情報の提供を図る。	市内在住の小学生とその保護者	7～8月	5回	【実施日】 令和6年7月6日～ 令和6年8月24日			【今年度の実施状況】 昨年度好評だったアウトドア、工作等の講師には今年度も来ていただき、より充実した内容となった。 アウトドア会場は、例年冒険活動センターを利用していたが、アップダウンが多く不便な部分もあるので、来年度は別会場での開催を検討する必要がある。		【次年度の方向性】 当センター唯一の小学生の親子向け講座であり、夏休み期間を利用した家庭教育の場を提供、また普段家庭では出来ない体験を提供する必要があるため、継続して実施する。	
	魅力ある学校づくり地域協議会などの支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 児童の登下校時の見守り活動や地域環境点検への支援・協力を行った。			【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。		【次年度の方向性】 今後も継続して、児童の登下校時の見守り活動への支援・協力を行っていく。	
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域応援講座	地域の持つ魅力や人材を探すべききっかけづくりに関連する企画や、地域の課題解決や活性化に資する内容を取り入れることで、地域づくりの醸成に繋げる。また、国際交流の理解に繋げられる出前講座や地域企業と連携した講座を企画する。	青少年及び成人	通年	各地域2回	【実施日】 令和6年6月21日～ 令和7年3月8日			【今年度の実施状況】 地域の持つ魅力や人材を探すべききっかけづくりに関連する企画や、地域の課題解決や活性化に資する内容を取り入れることで、地域づくりの醸成に繋げることが出来た。 身近に感じ、取り組みやすく旬な話題をテーマとする事で参加しやすい講座が開講でき、満足度の高い学習となった。 また、国際交流の理解に繋げられる出前講座や地域企業と連携した講座を企画する必要がある。引き続き、地域の特性等を活かしながら、地域住民目線の講座企画に努める		【次年度の方向性】 引き続き、地域の特性等を活かしながら、地域住民目線の講座企画に努め、継続して実施する。	
	中央地域ロコモ対策講座【CKP】	地域が抱える課題の一つに高齢化があげられる。健康長寿を目指して自宅でもできるロコモ体操などの実践とスキル向上のための講習を開催する。	中央地域の65歳以上一般成人	11月	1回	【実施日】 令和6年11月13日～ 令和6年11月13日			【今年度の実施状況】 参加者について、予定していた人数より少なくなってしまうため、今後は広報を早めに進める必要がある。		【次年度の方向性】 今後も地域との共生を続けていくため、継続して実施する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	【今年度の実施状況】 一条中学校区…地域団体等でいただいた協賛金で記念品を配布した。 旭中学校区…恩師との記念撮影や祝辞の時間を調整し、時間内に収めた。また、会場退場を促すため、出口で持ち帰り用菓子を配った。 陽北中学校区…地域団体等でいただいた協賛金で記念品を配布した。 実施委員より、中学校区内の会場で開催したいとの意見があった。 一条・旭中学区において、ライトキューブ会場での実施について高評価であった。		【次年度の方向性】 各中学校会場への誘導対応者の配置や式典開始前の着席を誘導する担当者を増やし、スムーズな会場案内を実現する。	
④ 持続的域に教地育の住民盤の学強習化や活動、交流を支	中央生涯学習センター文化祭	中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者のみでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。	中央生涯学習センター利用団体 地域コミュニティセンター利用団体 一般市民	9月	1回	40団体	延来場者数	600人	【今年度の実施状況】 コロナ明けによる制限の無い文化祭の実施により、参加者・来場者の交流が深まった。		【次年度の方向性】 まちかど広場も活用した文化祭を実施していく。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供。			【今年度の実施状況】 生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。 生涯学習サークル団体に、活動成果の発表の場を提供した。 中央生涯地域活動団体などの活動成果の発表の場のPRの更新を定期的に行う必要がある。		【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内で民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 今後も継続して、生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供する。	

基本方針	
<p>市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	ふれあい塾【Vスタッフ】	様々な課題についてグループワークを行いながら考えとともに、受講生同士の交流を深める。	市内在住・在勤の20歳以上の方	5～12月	9回	【実施日】 令和6年5月21日 ～ 令和6年12月17日			【今年度の実施状況】 定員70名に対し、受講希望者は119名と多く、最終的には44名落選とし75名を受け入れた。 会場の規模としては、ホールの可動椅子を使うことで十分受け入れ可能なため、来年度は定員を80名として実施していく。	【次年度の方向性】 受講者同士の交流により仲間づくりが推進され、毎年多くの希望者がおり、人気の講座であることから、継続して実施する。
	【連携実績】			【参加者数】						
	連携団体数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】		合計	うち子ども	主な世代				
			456人	0人	50～90代					
	東雲塾	高齢者が年齢にふさわしい社会的能力を高め、明るく健康で充実した生活を送るため、知識・健康・レクリエーション等の学習を行う。	市内在住・在勤の65歳以上の方	6～1月	6回	【実施日】 令和6年6月7日 ～ 令和7年1月24日			【今年度の実施状況】 第4回の「LRTに乗ろう」の館外学習の講座は安全性などの観点から、人数を絞って行ったため参加できない人ができてしまった。次年度はすべて人数制限のない企画とする必要がある。	【次年度の方向性】 高齢者が楽しく集える居場所づくりの拠点となる講座であることから、継続して実施する。
【連携実績】			【参加者数】							
連携団体数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】		合計	うち子ども	主な世代					
		244人	0人	65～90代						
	おとなの学び講座	世相を反映した様々な地域課題などを取り上げ、解決するための考え方やノウハウを学んでいく。	市内在住・在学・在勤の18歳から	11～12月	2回	【実施日】 令和6年11月29日 ～ 令和6年12月13日			【今年度の実施状況】 介護と相続は、一人ひとりの問題やその問題の深さも異なり、受講者全員の個別の事情に対応することは難しいが、基本的な情報は講座に盛り込むことが出来た。次年度も、身近な問題をとりあげたい。	【次年度の方向性】 その時々の問題を幅広く取り上げており、満足度も高いことから継続して実施する。
【連携実績】			【参加者数】							
連携団体数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】		合計	うち子ども	主な世代					
		37人	0人	50代						
	働き世代の講座	仕事や子育てで忙しい世代を対象に、現代の課題や自己実現に取り組み活躍している人を講師として講話やワークショップなどを行い、これからの生き方や働き方について一度立ち止まって考える機会を提供する。	市内在住の18歳以上の方	8月	2回	【実施日】 令和6年8月23日 ～ 令和6年8月30日			【今年度の実施状況】 話題のテーマであるメンタルケアについて取り上げたことから、予想よりも多く応募があった。働き世代の関心の高さがうかがえた。	【次年度の方向性】 働き世代対象の講座は他センターでの実施が少ないため継続して実施する。
【連携実績】			【参加者数】							
連携団体数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】		合計	うち子ども	主な世代					
		32人	0人	30～40代						
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	9～3月	2回	【実施日】 令和6年9月10日 ～ 令和7年3月4日			【今年度の実施状況】 スマホ講座の受講者の幅広い周知(管轄の8地域)と、公共予約システムを併せた活用を進めていく。	【次年度の方向性】 次年度は公共施設予約システムが全センターで始まることから、継続して実施する。
【連携実績】			【参加者数】							
連携団体数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】		合計	うち子ども	主な世代					
		1	ハヤブサドットコム		28人	0人	70代			
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育	親子でDoing	体験を通して、親子の絆を深める。地域人材の協力を得て地域教育力の向上を目指す。	市内在住の小学5～6年生とその保護者	7月	1回	【実施日】 令和6年7月26日 ～ 令和6年7月26日			【今年度の実施状況】 定員を超える応募があり、抽選となった。体を動かす講座であったため人数をもう少し増やしても良かった。	【次年度の方向性】 親子の夏休み中のスキニップを図るため継続して実施する。
	【連携実績】			【参加者数】						
連携団体数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】		合計	うち子ども	主な世代					
			24人	11人	40代					
	すくすく子育て講座	季節の行事や体操・音楽鑑賞などを通して、親子のスキニップを深め、生き生きとした親子関係を育み、参加者同士の交流を図る。また、親が子育てについて学び、よりよい子育て生活が送れるよう支援する。	就学前の乳幼児と保護者	5～12月	8回	【実施日】 令和6年5月23日 ～ 令和6年12月14日			【今年度の実施状況】 30組定員のところ30組応募があり、抽選なく全員参加することができた。運動や交流にちょうど良い人数を定員としたことでアットホームな講座となった。	【次年度の方向性】 親子のスキニップや親同士の交流など家庭教育を支援する講座であるため、継続して実施する。
【連携実績】			【参加者数】							
連携団体数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】		合計	うち子ども	主な世代					
			331人	161人	30代					

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
教育活動の推進	◎子ども国際理解サマースクール	参加型の活動を通して「協力・相互理解」などの力を養う。また、外国人と身近に接し、異文化に触れることにより、外国に目を向けるきっかけや国際理解の推進を図る。	市内在住の小学4～6年生	8月	3回	【実施日】 令和6年8月7日 ～ 令和6年8月9日			【今年度の実施状況】 昨年まで連携していた宇都宮大学の辞退を受け、今年度は当センターのみで実施した。長期にわたる講座が節目を迎え内容の再検討が必要である。次年度はこの子ども国際理解講座を見直し、内容を一新したサマースクールにしていきたい。		【次年度の方向性】 サマースクールはそのままに、扱う分野を変えたサマースクールを実施する。	
	★親子で学ぼう作文の書き方講座	作文の書き方を学ぶことで、苦手意識をなくし、「考え」を文章にまとめる力を養い、コミュニケーション力をつける。	市内在住の小学3～4年生	7～8月	2回	【実施日】 令和6年7月30日 ～ 令和6年8月6日			【今年度の実施状況】 15組定員のところ34組の応募があり、落選者が多数出てしまったが、少人数のため講師の指導が行き届き満足度の高い講座となった。		【次年度の方向性】 指導がわかりやすく、夏休みの宿題のヒントとなるため継続して実施する。	
仕学③組んだ地域成果解を促進にすつな講座と	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	【今年度の実施状況】 陽東中学校区…地域の実施委員と連携をし、運営する事ができた。 泉が丘中学校区…地域の実施委員と連携をし、運営する事ができた。		【次年度の方向性】 ライトキューブ宇都宮で実施したが、施設も新しく実施委員や成人（二十歳）からも好評であるため、同じ会場を希望する。	
						陽東	41人	1回				
						泉が丘	30人	1回				
④地持地域教育的育に地盤住民の強化学習や活動・交流を支援す	東生涯学習センター文化祭	東生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体に学習成果発表の場を提供することにより、親睦を図り、仲間づくりを進め、さらに質の高い生涯学習活動を推進する。	東生涯学習センター登録団体及び一般（地域住民）	10月	1回	出展団体数	延来場者数	特色	【今年度の実施状況】 ・東生涯学習センターが所管する8地区の連合自治会、生涯学習登録団体による実行委員会を組織して実施。 ・生涯学習団体が、日頃の活動を発表する事ができ、満足していた。		【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習団体の発表の場を提供するとともに、地域と連携し参加団体を増やしていく。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・主催講座について、地域の大学教員と連携して行い、地域教育力の向上を目指した。また、アンケートを行い実態を把握し、研修等で社会的関心の高い内容について、情報収集をした。 ・生涯学習センター内に、チラシやポスターを掲示し情報を提供した。			【今年度の実施状況】 主催講座や文化祭のチラシを、所管8地区コミセンと地域の8小学校へ配架依頼し、地域への回覧も行った。	【次年度の方向性】 ・今後も引き続き、研修等に参加し生涯学習に関する情報を収集し、市民のニーズに対応していく。 ・今後も、生涯学習センター内に、チラシやポスターを掲示し情報を提供していく。		

<p>市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	シニア快活！元気講座【Vスタッフ】	Vスタッフと協力し、受講者の関心が高い活動や宇都宮と関わりが深いテーマを中心に講座企画を行う。受講者に有用な知識を深め、交流を促進し、生きがいづくりにもつながる学習の場とする。	50歳以上の方（市内在住・在勤）	6～11月	6回	【実施日】 令和6年6月25日 ～ 令和6年11月26日			【今年度の実施状況】 様々な分野の講座を開催したことにより、高齢者がいきいきと楽しく学び、仲間づくりにもつながる機会を創出することができた。Vスタッフ企画なども取り入れ、地域活動人材の育成が図られた。		【次年度の方向性】 毎年人気の講座であるため、引き続き高齢者の興味をひくようなテーマを企画し、継続して実施する。	
	西楽アカデミー	健康など現代の生活に必要な知識の向上に関する学習を行うとともに、運動を伴ったレクリエーションや創作活動を通して受講者同士のつながりが深まるようコミュニケーション活動を取り入れる。	一般成人	6～12月	7回	【実施日】 令和6年6月20日 ～ 令和6年12月19日			【今年度の実施状況】 制作作業は班ごとに行ったが、分からない所を教え合ったりお互いの作品を見せ合うことで受講生同士の交流が生まれ、よりよい制作ができる相乗効果が生まれた。		【次年度の方向性】 毎年講座に参加することを楽しみにしている受講生も多く、地域の方々の生きがい学習の場となっているため継続して実施する。受講者の関心の高いテーマを取り入れながら、引き続き充実した学びに繋がるような内容を検討する。	
	スマホ講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	9～2月	2回	【実施日】 令和6年9月10日 ～ 令和7年2月14日			【今年度の実施状況】 昨今のデジタル化の進展により、スマホを使えないと不便であるとの認識の広まりにより、参加者が増加傾向にある。既スマホ利用者においても、普段使用していない地図アプリや音声検索など、便利な機能があることを知り、活用の幅を広げるきっかけになった。デジタル政策課「デジタル活用支援窓口」の周知ができた。		【次年度の方向性】 市民のデジタル機器の有効利用やデジタルデバインドの解消のきっかけとするため、継続して実施する。	
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう支援する。また、子育ての知識・技術を身につけ、家庭の教育力の向上を図る。	1歳～3歳の乳幼児とその親	6～12月	6回	【実施日】 令和6年6月12日 ～ 令和6年12月11日			【今年度の実施状況】 家庭の中だけでは経験できない、新しい体験ができたこと好評であった。孤立しがちな子育てのレスパイト的な役割も担える。母親の参加がほとんどなので父親の子育て参加の機会創出も考慮に入れる必要がある。近隣高校のボランティアの協力を受けて実施しているが、それぞれの意識にずれがあり運営上大きくしゃくする場面も見られたことから、ボランティア受け入れの目的・効果等を整理し、受講者・市・学校・生徒それぞれに良いものとなるよう事前の打合せ等が必要である。		【次年度の方向性】 平日昼間の母子だけでなく、父親が参加しやすい日程での開催を検討しながら、継続して実施する。	
	◎親子トライ&ゴー	工作など様々なアクティビティを通し親子の絆を深めながら、生活に役立つ知識や子どもの心を育む技術を学習・習得することにより家庭の総合的な教育力の向上を図る。	小学校1年生～3年生とその保護者（市内在住・通学）	6～10月	5回	【実施日】 令和6年6月15日 ～ 令和6年10月19日			【今年度の実施状況】 コロナ禍以前の状態に戻すため、定員や内容を見直し、より魅力的な講座が開催できるよう努力したが、参加人数が定員割れであった。		【次年度の方向性】 コロナ禍が去り各種イベントが活発化したため、学校行事が再開されるなどの影響により、参加人数が低迷しているが、親子で参加でき、かつ体験的な講座である本講座は実施する意義の高いものであると考えるため、日程等を再考・検討した上で継続して実施する。	
	わくわくサマースクール	夏休みを利用して普段なかなかできない体験学習を行い、好奇心や想像力、思考力を培う。また他校の仲間との交流を深めると共に、地域の施設を生かした校外学習を行い、社会性を育成を図る。	小学4年生～6年生（市内在住・通学）	7～8月	6回	【実施日】 令和6年7月29日 ～ 令和6年8月5日			【今年度の実施状況】 毎年人気の講座で定員を大きく上回る申込者があった。様々な分野で体験を中心とした児童の興味のある内容であった。やや難しいと感じていた児童も一定数いたので、より楽しくわかりやすく講師の先生の選定や、講座の運営方法など工夫する必要がある。		【次年度の方向性】 夏休みに子どもたちの興味関心に沿った企画という事で、児童や保護者からの期待も大きいことから、継続して実施する。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	魅力ある学校づくり地域協議会などの支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 ・あいさつ標語の募集・選定、グリーン活動への協力・支援を行った。		【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり協議会など地域の教育力向上に取り組む団体の支援活動を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。
	地域コミュニティの促進（富士見）【CKP】	地域のニーズに沿った課題解決や地域住民のコミュニティの促進を図る。	富士見小学校1年から6年生と、その保護者	3月	1回	【実施日】 令和7年3月22日 ～ 令和7年3月22日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 2 富士見まちづくり推進協議会、富士見小学校 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 26人 15人 10代		【今年度の実施状況】 行事等もコロナ禍前の状態になってきたことを受け、今年度は地域と調整を図り、3月に開催することとし、軽節を題材とした、地域住民の健康や食育の講座を実施した。今後は、調整時期を早めて参加が多く見込める時期に設定する必要がある。	【次年度の方向性】 地域の現状を理解し、地域交流を深め、まちづくりへの参加のきっかけや、活動の促進のため継続する。
	桜地域と人車鉄道等【CKP】	宇都宮の歴史のなかで、自分たちの住むまちがどのような役割を果たし、どのように変容してきたかを知ることにより、地域への理解を一層深め、愛着心を高めることで、まちづくりのさらなる推進を図る。	桜地域住民	10～12月	4回	【実施日】 令和6年10月22日 ～ 令和6年12月3日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 桜地域まちづくり協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 67人 0人 70代		【今年度の実施状況】 あえて、まちあるかないまちあるき講座にしたが、足腰の不安なひとたちに、好評だった。「知識欲」を刺激する講座には、男性の参加が多い。アンケート結果にもあるが、受講した皆さん楽しそうだった。まち歩きを1回くらいしたいところだが、天候との兼ね合いを考えると難しい。	【次年度の方向性】 満足度の高い講座であることから、同様の方向性で継続して実施する。今回、話に出たところを歩いて見たいという声もあったので、実際に歩くのも考える必要がある。
	持続可能なまちづくり（明保）【CKP】	明保地区の、地域資源を再確認し、活用していく方法を考えるとともに、地域の課題解決を目指す。地域住民の学びの場とする。	明保地域住民	9月	1回	【実施日】 令和6年9月26日 ～ 令和6年9月26日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 明保地区明るいまちづくり協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 17人 0人 70代		【今年度の実施状況】 定期的に行っている健康づくり推進員活動のウォーキングと併せ、公共交通機関を利用し、館外学習を行った。ウォーキングをしながら国本地区の遺跡等をめぐり、近隣の地域資源について学習したことにより、地域を知るきっかけとなり、地域への愛着や知識を習得することへの関心の向上につながった。また、地域の人たちも講座の企画・運営に自ら積極的に参加することができた。	【次年度の方向性】 地域の問題点を情報収集し、活動者とともに、課題解決に沿った講座を開催することにより、今後のまちづくり活動に対し、意識の向上を図るため、継続して実施する。
	宇都宮再発見！	日本史における激動の時代、封建制から「近代化」へ向けた時代にスポットをあて、宇都宮の歴史を再確認するとともに、歴史の表舞台だけでなく、あまり語られなかった一般の人々の暮らしや考え方について知る。	18歳以上の人（市内在住か通勤通学）	6～11月	5回	【実施日】 令和6年6月21日 ～ 令和6年11月22日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 149人 0人 70代		【今年度の実施状況】 幕末から明治という歴史上でも人気の高い時代をテーマとしたため受講希望者も定員を上回る応募があった。県立博物館の協力を得て、より専門的な講師を依頼できたことから多角的に歴史を学ぶ機会を提供することができた。講座の回数を増やしてほしいとの声も多数あった。	【次年度の方向性】 地域の歴史等を専門家から学べる貴重な機会であり、地域住民からも好評であるため、今後も継続して実施する。
二十歳を祝う成人のつどい	成人（二十歳）が地域のひととともに成人のつどいを作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施委員会 実施回数 宮の原 27人 1回 陽西 37人 1回	【今年度の実施状況】 陽西中学校区…成人（二十歳）が自分たちで成人のつどいを作り上げるという意識で地域交流事業を企画、地域の実施委員と連携し、運営した。 宮の原中学校区…成人（二十歳）が自分たちの意思で地域交流事業を企画、地域の実施委員とともに式典や交流事業を運営した。 コロナ感染対策を講じる必要は無くなったが、成人（二十歳）代表打合せをリモートに、また、連絡方法にLINEを取り入れたり、実施委員や会場と密な調整を行うことにより迅速な運営を行うことが出来た。	【次年度の方向性】 引き続き、実施委員等と調整を図り、より円滑かつ効率的な運営を行う。		
盤④の持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基	西生涯学習センター文化祭	西生涯学習センター利用者などの各種団体や地域・学校・企業が一体となって事業を展開することにより、特色ある地域文化の向上ならびに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	西生涯学習センター利用者及び一般市民	11月	1回	出展団体数 延来場者数 特色 32団体 450人 作品展示を、長期間行うことにより、センター来館者（図書利用者・部屋貸出者等）に幅広く披露することができる。	【今年度の実施状況】 ・作品展示：9/9（月）～2/28（金）センターロビーにて、1団体2週間程度展示 ・サークル発表・模範店等：11/9（土）～10（日） ・近隣の保育園・高校の参加および高校生の運営ボランティア	【次年度の方向性】 今後も継続して、サークルの発表の場を提供するとともに、地域や近隣学校と協力し、事業を企画する。	
	クールシェア・コンサート	宇都宮市民を対象に、夏季に公共施設で涼しさを分け合いながら演奏会を開催する。演奏会を通して、より多くの市民に生涯学習への関心を持ってもらう機会とする。	市内在住・通勤・通学の人	7月	1回	【実施日】 令和6年7月6日 ～ 令和6年7月6日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 45人 0人 70代	【今年度の実施状況】 対象を西生涯学習センターエリアから市内に広げ、音楽鑑賞による教養の向上となる成果が見られた。 講師の先生がとても魅力的で、チラシの効果もあり、申込み定員を大きく上回った。満足度もほぼ100%と好評であった。	【次年度の方向性】 市民の興味関心も高く、非日常的体験を提供できる講座であるため、今後も継続して実施する。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、チラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。	【今年度の実施状況】 情報の共有化を図り、活動している生涯学習団体に講師の依頼をするが、なかなか都合や、条件が合わないこともある、更なる情報共有や、迅速な判断が必要。	【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内にチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 主催講座の講師等を依頼し、生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場を提供する。	

基本方針	
<p>市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	◎シニアセミナー南悠塾	シニア世代の受講者が、学びを通して交流を図り教養を深めることで、充実した日々を送る手助けをする。	市内在住、通勤の60歳以上の方	6～12月	6回	【実施日】 令和6年6月7日～ 令和6年12月6日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 255人 0人 70代			【今年度の実施状況】 講座を楽しみにしている受講者が多く、シニア向けセミナーとして定着していると感じる。	【次年度の方向性】 申込者が多く関心が高いため継続して実施する。
	暮らし彩り講座	人生100年時代、セカンドライフ充実に向けて、フレシニア世代の衣・食・住の暮らしを彩るアイデアを学ぶ。	市内在住か通勤・通学の18歳以上の人	6月	3回	【実施日】 令和6年6月6日～ 令和6年6月27日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 49人 人 70代			【今年度の実施状況】 無意識の偏ったモノの見方である「アンコンジャス・バイアス」や、スマホを使った写真の撮り方やリサイクルに関する講座など、現在の社会課題やニーズを踏まえながら、セカンドライフの充実に寄与する講座を開催した。	【次年度の方向性】 受講者が定員に満たなかったことや、シニアセミナー南悠塾と内容が重なる部分があることから、次年度は廃止とし、新たな講座を立ち上げる。
	健康講座	健康寿命・平均寿命について考え、健康を保つための知識・運動を学ぶ。	市内在住か通勤・通学の18歳以上の人	5月	2回	【実施日】 令和6年5月16日～ 令和6年5月30日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 46人 人 70代			【今年度の実施状況】 ・定員20名を超える申し込みがあり、講師の先生方に相談し、抽選とせず全員を受講可とした。 ・”呼吸法” ”ラジオ体操”と誰もが深く意識せずに行っていることを改めて見直すことにより、その大切さがわかり、受講者の満足度も高かった。 ・講話より実技を中心としたことが集客に繋がったと思われる。	【次年度の方向性】 健康に関する市民の関心は高く、運動を継続して行う講座のニーズが多いため、継続して実施する。
	宇都宮再発見講座	映画・TVドラマのロケ地を様々な角度、多角的な視点でとりあげ、宇都宮市の魅力や市の取り組みなどについて紹介する。	市内在住か通勤・通学の18歳以上の人	7月	2回	【実施日】 令和6年7月4日～ 令和6年7月11日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 65人 0人 60代			【今年度の実施状況】 ロケ地の裏話、ブランド戦略の施策等、色々な宇都宮市の魅力を知ることができて、概ね受講者からの満足度が高かった。PC操作のモチベーションを指摘する声もあったので、次年度は改善できるようにしたい。	【次年度の方向性】 市内の別のロケ地をもっと知りたいとの声や地元を再発見して欲しい意見が多かったので、様々な視点から宇都宮の魅力を取り上げられるよう、継続して実施する。
	★シニア向けプログラミング入門講座	シニア世代がゲーム感覚で楽しめるプログラミングの基礎を学び、デジタル技術を身近に感じること、デジタル機器利用促進のきっかけとする。	市内在住、通勤の60歳以上の方	8月	1回	【実施日】 令和6年8月1日～ 令和6年8月1日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 15人 0人 60代			【今年度の実施状況】 今年度初めて実施した講座で、受講者が集まるか不安だったが、応募者多数で抽選となった。プログラミングの際画面が小さく入力文字が細かったので、シニアには少しやり辛かったかもしれないが楽しくできたの声が多かった。	【次年度の方向性】 ゲーム感覚で楽しむことができ、プログラミングとはどういうものか、基礎に少しでも触れ学ぶことができたことから、継続して実施する。
スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住の勤労者、スマホ初心者	9～1月	2回	【実施日】 令和6年9月2日～ 令和7年1月23日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 28人 0人 70代			【今年度の実施状況】 参加者はリピータの人が多く、「年配者は一度聞いただけでは覚えられない。市でこういう講座をしてもらえるのは助かる」との声が多く聞かれた。地域の方々にも案内しているが、周知がいきわたってないと感じる。新規の受講者の集客ができるようPRしていく必要がある。	【次年度の方向性】 次年度は公共施設予約システムが始まることから、継続して実施する。	
② 家庭教育支援の充実と学	すくすく子育て応援講座(前期)	親子が楽しみながら触れ合い、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合いながら交流を図る。	市内在住の首すわり～1歳前後の幼児とその保護者	5～7月	4回	【実施日】 令和6年5月8日～ 令和6年7月10日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 90人 42人 30代			【今年度の実施状況】 定員15組に対して34組の応募があり落選者多数の状況が例年続いている。落選すると次年度は子どもの成長により同講座には応募できないため残念に思う。講座開始後も発熱等による欠席があるため少し定員を増やしても良いのではと感じた。	【次年度の方向性】 講座に対するニーズが高く、満足度も高いことから次年度も継続して実施する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針		
地域と連携・協力した教育活動の推進	すくすく子育て応援講座（後期）	親子で遊びや運動をすることでふれあいを深め、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合いながら孤立しがちな子育て世代の仲間づくりのきっかけとする。	市内在住の2～3歳の子どもの保護者	10～12月	3回	【実施日】 令和6年10月2日～ 令和6年12月4日			【今年度の実施状況】 申込開始後まもなくLINEに掲載したことで周知できたと思う。応募方法も窓口直接は1名、他はメールだったので「はがきでの申込」は削除しても良いと感じた。		【次年度の方向性】 母親の居場所または交流の場としても効果的な講座であることから、継続して実施する。		
	親子で学ぶ作文の書き方講座	作文の書き方を基礎から学ぶことで、「考え」を文章にまとめる力を養い、コミュニケーション力をつける一助とする。	市内在住の小学4～6年生の児童とその保護者	8月	2回	【実施日】 令和6年8月2日～ 令和6年8月9日			【今年度の実施状況】 管内の小学校にチラシを配布し集客を図ったが、受講者が定員割れとなった。		【次年度の方向性】 9年連続で講座を実施しているが、応募者が減少していることから廃止とする。		
	プログラミング入門講座	小学校で必修科目となったプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。	市内在住の小学生	7月	2回	【実施日】 令和6年7月30日～ 令和6年7月31日			【今年度の実施状況】 今年度も多数の応募があり、抽選となった。昨年度受講した児童のリピータ申し込みも多く、未受講の児童優先での抽選とした。当選後の辞退が若干あり、次点者へ連絡しても落選後すでに予定を入れている場合が多く、苦労した。やや満足との回答が多いのは、時間が足りなくて課題をクリアできなかったことによるものであった。		【次年度の方向性】 トライ＆エラーを繰り返すことによって、問題を解決する過程・思考を養うことができるので、継続して実施する。		
	夏休み小学生講座	小学4～6年生の児童が、他の学区の児童と親睦を深めながら実験や工作などを通して夏休みの自由研究などの一助とする。	市内在住の小学4～6年生の児童	8月	2回	【実施日】 令和6年8月6日～ 令和6年8月7日			【今年度の実施状況】 応募少数のため3年生から申込可とした。高学年になるほど部活や塾通い等の影響で申し込みが少ないのではないかと考えられる。また、各講座内容の好みやレベルの問題、2日連続での受講者・家族の負担などもあると感じた。		【次年度の方向性】 受講しやすいように2日連続講座をやめ、1日の単独講座を2回実施する。また、学校や家庭では体験できない講座内容として、継続して実施する。		
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 ・陽南中学校魅力ある学校づくり地域協議会会議に出席し、第1回（6月）は学校・協議会の取組等の説明を受け、第2回（9月）は授業参観・給食試食、第3回（11月）及び第4回（2月）は生徒会との意見交換に参加した。			【今年度の実施状況】 ・陽南中学校魅力ある学校づくり地域協議会会議について4回（全4回）出席した。		【次年度の方向性】 有意義な会議となるよう、生涯学習センターの立場から発言するなど支援をしていく。		
3. 地域を活性化させる活動に促進する講座と組むのん	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳の成人が地域住民とともに「二十歳を祝う成人のつどい」を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 陽南・若松原中学校区…クラス毎の集合写真について、業者に撮影を依頼せず、二十歳の実施委員がスマホによる撮影を行い、経費削減とラインで参加者へ写真の即時提供を行った。 「式典」と「地域交流事業」の二部構成で実施。「二十歳の祝福」と「二十歳としての自覚や地域への感謝の気持ちの醸成」を図るつどいを開催した。		【次年度の方向性】 次年度も、二十歳としての自覚や地域に対する感謝の気持ちを育む内容の式典を開催する。	
4. 持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基盤の強化	南生涯学習センター文化祭	南生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体等が一致協力して、日頃の活動成果を発表することにより、特色ある地域文化の発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の向上を図る。	南生涯学習センター登録団体	10～11月	1回	出展団体数	延来場者数	特色 ・文化祭に参加する生涯学習団体が内容や実施方法について検討し、当日の運営や準備、後片付けについても自分たちで行うなど、参加団体が主体となった文化祭である。 ・参加対象を生涯学習団体に限定することで、生涯学習団体が日頃の活動成果を十分に発表することができる文化祭とした。			【今年度の実施状況】 作品展示は展示期間を増やしたことから、非常に多くの方が鑑賞した。 文化祭に参加することで、活動意欲やモチベーションが高まり、団体活動の活性化に繋がった。		【次年度の方向性】 団体構成員の高齢化などにより、活動が縮小傾向にある生涯学習団体もあるが、今後も、文化祭を日頃の活動成果を発表する場とし、団体活動の活性化を図っていく。
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・主催講座実施後にアンケートを行い、生涯学習に関するニーズを把握したほか、研修等で社会的に関心の高い課題について情報収集を行った。 ・年間を通して生涯学習センター内の掲示板に以下の紙面を掲示し情報を提供した ▶市や県及びそれらの関連団体が主催、後援する生涯学習に関するポスターやチラシ ▶センター主催講座毎に作成した講座の概要や受講者の感想等を記載した情報紙 ▶各生涯学習団体が作成した活動等に関する情報紙 ・主催講座パンフレットや文化祭チラシについて、南生涯学習センター及び所管4地区コミセンへ配架し、併せて地域世帯へ回覧を行った。			【今年度の実施状況】 生涯学習に関する市民ニーズや社会的な課題等について情報収集を行った。 生涯学習に関する講座やイベント、登録団体の概要や活動内容等について情報提供を行った。		【次年度の方向性】 次年度も引き続き、下記により情報の収集・提供を実施していく。 研修に参加して、他の生涯学習センターや公民館における生涯学習に関する活動事例を収集 市や県等が主催、後援する生涯学習に関するポスター及び講座等のチラシを館内に掲示して情報を提供 主催講座について、パンフレットの配架や地域への回覧のほか、受講者の感想や効果について所内掲示により情報を提供 生涯学習団体が作成した団体の情報紙を掲示する場を提供		

基本方針	
<p>市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を構築するよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用を努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、◎：令和6年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	北洲塾 【Vスタッフ】	生きがいづくりを目的に幅広い分野の知識を学び、様々な学習を通して受講者同士の交流を深め、地域社会への参加の輪を広げる。	65歳以上の市民	6月～12月	6回	【実施日】 令和6年6月12日 令和6年12月11日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 日本赤十字社栃木県支部 栃木県立美術館 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 172人 0人 70代	【今年度の実施状況】 「北洲塾」は、生きがいづくりを目的に幅広い分野の知識を学び、様々な学習を通して受講者同士の交流を深め、地域社会への参加の輪を広げることを目的に実施した。定員35人のところ58人の申込みがあった。アンケートの結果では、社会課題や受講後も活用できるプログラム、Vスタッフ企画など多様なテーマであったと好評であった。今後は、受講者から、参加者同士の交流をもっと持たせたかったとの意見もあったことから、さらに仲間づくりを意識した内容のプログラムが必要である。	【次年度の方向性】 今年度の募集で定員を超える申し込みがあり、抽選で外れた方、今年度受講された方々からも受講希望が多いことから、継続して実施する。また、より参加者同士の交流や親睦が深められるようなプログラムを検討し実施する。
	聴いて読む名作	専門的技術を有する講師の朗読を鑑賞し、名作をより深く味わうとともに、多様な朗読の世界に出会う機会を創出する。	全市民	10月	1回	【実施日】 令和6年10月10日 令和6年10月10日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 35人 人 70代	【今年度の実施状況】 「聴いて読む名作」は、専門的技術を有する講師の朗読を鑑賞し、名作をより深く味わうとともに、多様な朗読の世界に出会う機会を創出することを目的に実施した。定員35人のところ45人の申込みがあった。アンケートの結果では、リレー朗読で読むことの面白さを体験できたこと、プロの朗読のすばらしさを感じることができたことと好評であった。今後は、毎年好評であり、北生涯学習センター独自の講座であることから、継続して行えるよう新たな講師に依頼し、新たなテーマで行っていく必要がある。	【次年度の方向性】 北生涯学習センター独自の講座であり、専門的技術を有する講師の朗読を鑑賞する講座であることから、継続して実施する。また、新たな講師については、県内で活動している講師に依頼し、講師の得意とするテーマでの朗読鑑賞と体験のできる1回の講座として実施する。
	◎和文入門講座	和文を通して日本文化の粋に触れ、和の心をもったコミュニケーション力を養う。	全市民	11月～12月	6回	【実施日】 令和6年11月15日 令和6年12月5日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 99人 0人 代	【今年度の実施状況】 「和文入門講座」は、和文を通して日本文化の粋に触れ、和の心を持ったコミュニケーション力を養うことを目的に実施した。定員35人のところ45人の申込みがあった。アンケートの結果では、普段なじみのない日本の伝統文化に触れる貴重な機会として受講者の満足度も高かった。今後は、昨年度申込みが定員に満たなかった2講座を刷新したことで、定員以上の申込みがあったことから、講座プログラムを検討していく必要がある。	【次年度の方向性】 定員の2倍近い申込みの回があり、各分野の講座を選択できるスタイルも好評であることから、選択式は継続して実施する。また、定員に満たなかった講座については、講座プログラムを検討し、実施する。
	★エスプレッソ コーヒーの楽しみ方講座	コーヒー淹れ方講座を行うことで、参加者同士の交流を図りコミュニケーション力の向上、「エスプレッソシティ宇都宮」等の地域ブランドの周知を行うことで地域理解を深める。	全市民	10月	1回	【実施日】 令和6年10月16日 令和6年10月16日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 7人 0人 40代	【今年度の実施状況】 「エスプレッソコーヒーの楽しみ方」は、参加者同士の交流を図ること「エスプレッソシティ宇都宮」等の地域ブランドの周知を行い地域理解を深めることを目的に実施した。定員10人のところ37人の申込みがあり、年代も18歳から70歳代まで幅広くあった。アンケートの結果では、「エスプレッソシティ宇都宮」を知らなかった。ラテアート体験が楽しかった。などの意見があり、満足度も高かった。今後は、働く世代の受講者が多いことから、仕事が終わらずキャンセルとの連絡があったり、遅れてくる受講者もいたことから、開催する曜日、時間等を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 今年度、初めて実施したが、参加者同士の会話も多く、講師の教え方も丁寧であったことから、満足度の高い講座となった。また、今回参加して初めて「エスプレッソシティ宇都宮」として情報発信していることを知ったとの意見もあり、地域を知るきっかけにもなったことから継続して実施する。また、働く世代が参加しやすい、開催日や時間については検討し、開催していく。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学部、利用技術の向上を図る。	市内在住者(主に地区住民)	7月～1月	2回	【実施日】 令和6年7月16日 令和6年2月13日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 38人 0人 70代	【今年度の実施状況】 「スマホ基礎講座」は、自治会活動や地域におけるデジタル化を推進するため、地域住民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術を向上することを目的に市内全地区で実施している。定員を満了した申込みであった。アンケートの結果では、出席してよかったとの意見のほか、そもそも言葉がわからない、などの意見があったが、受講者からの質問に対して、個別に丁寧な説明もあり、受講者の約8割から「満足」「やや満足」との回答を得るなど好評であった。今後は、スマホの使用法について習得する機会の必要性は高いが、参加者にとっては自分のスマホの使い方がわかることが重要であり、個別対応や質問の時間を多く取る必要がある。	【次年度の方向性】 スマホの使用法について習得する機会の必要性は高いが、個人所有のスマホの使い方を個人が理解することが重要であることから、3月から実施されるデジタル活用支援窓口の活用や細谷・上戸祭地区、宝木地区では独自でスマホ講座も実施していることから、実施方法については関係課と調整をしながら検討していく。
活② 動地の域推・進学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育	◎親子自然探検隊	地域の未来を担う世代(子育て世代とその子ども)が、地域の自然(本市の中心市街地に立地する戸祭山緑地)をフィールドに、専門家の指導のもと、身近な自然とつながりについて学び、その緑地を保全する活動を体験することで、地域愛を深める。	小学生以下の子どもの保護者	5月～1月	5回	【実施日】 令和6年5月18日 令和6年1月18日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 レッドハイン、栃木県立博物館 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 165人 91人 30代	【今年度の実施状況】 「親子自然探検隊」は、子育て世代の親子が、地域の自然である戸祭山緑地をフィールドに、専門家の指導のもと身近な自然とつながりについて学び、保全活動を体験することで、地域愛を深めることを目的に実施した。定員15組のところ36組の申込みがあった。アンケートの結果では、地域の戸祭山緑地が自然環境や貴重な生き物の保全活動に関与することができたと満足度も高かった。今後は、昨年度まで博物館から学芸員の派遣が4回あったが、今年度は1回になったことから、レッドハインと講座内容の調整をする必要がある。	【次年度の方向性】 地域資源(戸祭山緑地、グリーントラスト)を活用しながら、子育て世代の親子が、自然とつながりについて体験しながら学ぶ機会であり、参加者の要望・満足度も高く、応募も定員を超えていることから、継続する。また、レッドハインとの講座内容の調整が難しい回については、県立博物館の講師派遣の回数を増やすなどして対応していく。
	子育て/パパ・ママ応援講座	専門的知識を有する講師の指導を受けながら子育てに必要な知識を学び、未就学児をもつ親への子育て支援と交流の場とする。	未就学児の保護者	6月	3回	【実施日】 令和6年6月8日 令和6年6月22日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 34人 12人 30代	【今年度の実施状況】 「子育て/パパ・ママ応援講座」は、未就学児を持つ親への子育て支援として、専門的知識を有する講師から子育てに必要な知識を学ぶとともに親子の交流や仲間づくりを促すことを目的に実施した。定員20人のところ24人の申込みがあった。アンケートの結果では、子どもと一緒に参加する「おんがくであそぼう」は参加者も多く「参加型のコンサートで楽しめた」等の意見があり満足度も高かった。また、大人のみ講座の回は、参加者が少なかったがワークショップや託児があることで満足度は高かった。今後は、毎週参加することが難しいとの意見もあり、大人のみ対象の講座の回は参加者が少なくなってしまうことから、実施回数や時期を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 保育園など多い地域特性を踏まえ、子育て世代を対象とした講座を継続して実施する。毎週参加する事が難しく、大人のみ対象の講座の回の参加者少なかったことから、仲間づくりの場の提供と親子で楽しめるプログラムを継続しながら、実施回数や時期を検討しながら開催していく。
	親子でチャレンジ	親子がともに、体験活動を行い、それらの活動を通して相互理解を深めると共に、参加者同士の交流を図り、社会性の拡大を図る。	小学1年～4年生とその保護者	7月～8月	4回	【実施日】 令和6年7月27日 令和6年8月24日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 4 冒険活動センター、レッドハイン 県防災館、県子ども総合科学館 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 95人 54人 40代	【今年度の実施状況】 「親子でチャレンジ」は、親子がともに体験活動を行い、その活動を通して相互理解を深めるとともに参加者同士の交流を図ることを目的に実施した。12組定員のところ13組の申込みがあった。アンケートの結果では、親子で学んだり、作品を作ったりと普段できない体験ができ、夏休みの思い出になったと満足度も高かった。今後は、夏休みに4週連続参加は難しいとの声や今年は猛暑であったことから熱中症のリスクを考えると真夏の屋外の活動は困難であるため、開催回数や方法を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 参加者からも親子で参加できる講座の希望が多いことから、継続して実施する。また、夏休みに4週連続参加は難しいとの参加者の声や暑さの中での屋外活動については、開催回数を減らし、プログラム内容を検討していく。
② 家庭教育支援の充実と学								

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
校や地域と連携・協力した教育活動の推進	アンガーマネジメント講座	アンガーマネジメントを学び実践することで、自己肯定感を育み、精神的なゆとりをもって家庭教育に取り組めるように、子どもを持つ親への子育て支援を行う。	未就学児の保護者	9月	2回	【実施日】 令和6年9月14日 ～ 令和6年9月28日		【今年度の実施状況】 「アンガーマネジメント講座」は、子どもを持つ親への子育て支援として、アンガーマネジメントを学び実践することで、自己肯定感を育み、精神的なゆとりをもって家庭教育に取り組めるようになることを目的に実施した。定員16人のところ13人の申込みがあり定員に満たなかった。アンケートの結果では、仕事や生活に活かすことができる。託児があると参加しやすいとの意見があり、満足度も高かった。 今後は、参加者同士の交流もでき、充実した講座となったが、ホームページ、広報誌、近隣の保育園認定こども園でのチラシの配布を行ったが、定員に満たなかったため、対象者や開催方法等を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 参加人数が少ないことについては、アンガーマネジメントは子育て世代だけではなく仕事や介護をしている人も必要としていることでもあることから、対象者を広げることや他のテーマと合わせ新たな講座の1つのテーマとして実施する。
	昔あそび体験講座	昔あそび体験を通して、各自の学びや子ども同士のふれあいの機会を提供する。また、子どもたちがセンターに足を運ぶことで、図書室の利用など生涯学習センターの利用促進へとつなげる。	小学生とその保護者	7月	1回	【実施日】 令和6年7月24日 ～ 令和6年7月24日		【今年度の実施状況】 「昔あそび体験講座」は昔あそび体験を通して、各自の学びや子ども同士のふれあいの機会を提供することを目的に実施した。定員10組のところ5組の申込みがあり、定員に満たなかった。アンケートの結果では、昔の遊びを体験する良い機会となり、参加者同士が協力して活動ができ満足度は高かった。 今後は、広報誌、ホームページ等で周知したが、定員に満たなかったことから、実施方法等について検討する必要がある。	【次年度の方向性】 普段の生活の中で経験することができない昔遊びを体験し、また体験を通して参加者同士の交流が図れるため継続する。 また、参加者数が少ない事については、工作などの作品作りを取り入れる事や時期を検討し、他の講座と統合して実施する。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 魅力あり学校づくり協議会委員として、会議や事業に協力した。		【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり協議会など地域の教育力に取組む団体の支援活動を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	サークル活動を体験してみよう	生涯学習サークル活動に関心のある方や未経験でも気軽に参加しやすい環境を提供することにより、活動への興味・関心を高め、センター利用団体への加入促進及び活動の活性化を図る。	全市民	3月	18回	【実施日】 令和7年3月7日 ～ 令和7年3月27日		【今年度の実施状況】 「サークル活動体験」は、生涯学習サークル活動に関心のある方や未経験でも気軽に参加しやすい環境を提供することにより、活動への興味・関心を高め、センター利用団体への加入促進及び活動の活性化を図ることを目的に実施した。 登録の80団体中18団体が参加し、今年度初めて参加した団体は6団体であった。参加者は延べ77人で、参加者の約4割の方が新たなサークルに入会するなど成果をあげることができた。 今後は、北生涯学習センターを利用している団体で構成されている利用団体連絡協議会と意見交換を行い、事業の効果的な方法について検討していく必要がある。	【次年度の方向性】 今年度で3年目の事業であることから、新規参加団体数やサークル入会者数、継続者数を踏まえながら、利用団体連絡協議会と意見交換を行い、事業の効果的な方法について検討していく。
	★小学生夏休み講座	小学生の高学年を対象に、地域の教育機関等と連携し体験学習を行い、多世代交流を推進する。	小学4年～6年生	8月	1回	【実施日】 令和6年8月20日 ～ 令和6年8月20日		【今年度の実施状況】 「小学生夏休み体験講座」は、小学校高学年を対象に、文芸芸術大学と連携し体験学習を行い多世代交流を図ることを目的に実施した。定員10人のところ37人の申込みがあった。アンケートの結果では、作品づくりの楽しさと大学生が楽しかったなど意見があり、参加者の満足度が高く、大学生と小学生の多世代交流を図ることができた。大学生からも貴重な体験が出来、今後も継続すると良いとの意見があった。 今後は、夏休みに講座を実施することから、早い時期から大学との連絡体制の構築を図る必要がある。	【次年度の方向性】 今年度、新規事業として実施し、大変満足度の高い講座であったことから、継続して実施する。 また、夏休みに講座を実施することから、早い時期から大学との連絡体制の構築を図る。
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳となった成人が地域のひとともに式典を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、二十歳となった成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施委員会 実施回数	星が丘 23人 1回 宝木 27人 1回	【今年度の実施状況】 星が丘・宝木中学校区・夏休みに二十歳成人の実施委員会を開催し、当日の写真は、集合写真だけではなく、スナップ写真も希望者には有料で受け取れるようにした。 受付方法が変更になり、スムーズに行えるか不安もあったが、実施委員の協力もあり、円滑に運営することができた。	【次年度の方向性】 引き続き、実施委員等と連携を図り、より円滑かつ効果的な運営を行う。
教育の持続盤的に強地域住民の学習や活動、交流を支援する地域	北生涯学習センター文化祭	北生涯学習センター対象地域内における各種団体と北生涯学習センターが一体となって諸事業を展開することにより、生涯学習の推進並びに地域文化の向上発展、連帯意識の高揚を図る。	北生涯学習センター対象地域団体、利用団体及び一般市民	11月	1回	出展団体数 延来場者数 特色	38団体 1050人 ・文化祭に参加する生涯学習団体等が主体となっており、当日の運営や準備、片付けなどを行っている。また、出展がない団体であっても、当日の運営ボランティアとして参加するなど、センター利用団体が協力し実施している。 ・地域団体や近隣の学校、保育園等も参加 ・演芸発表の撮影や当日の運営、受付、駐車場案内、中学生によるオープニングの司会など多くのボランティアの協力がある。	【今年度の実施状況】 特色ある文化祭を実施することで、多くの人に来ていただけたことが出来た。また、今年度初めて、10日に地区農業祭と同時開催を行い、来場者の増につなげることが出来た。	【次年度の方向性】 北生涯学習センター対象地域内における各種団体と北生涯学習センターが一体となって諸事業を展開することにより、生涯学習の推進並びに地域文化の向上発展、連帯意識の高揚を図ることに引き続き実施する。
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・北生涯学習センター登録団体一覧を配架、また、団体活動のチラシを掲示するなど、生涯学習情報を提供した。 ・「生涯学習サークルを体験してみよう」に参加する団体については、サークルの活動内容などの情報を事業の周知用チラシなどにより、広く市民へ情報提供を行った。		【今年度の実施状況】 生涯学習に関する講座やイベント、登録団体の概要や活動内容等の情報提供を行う事ができた。	【次年度の方向性】 引き続き、生涯学習の情報収集・提供を行っていく。 センター主催事業や市や県等が主催・後援する生涯学習事業のちらしやポスターを掲示する。 生涯学習団体について、団体概要や活動内容等のPRの場を提供する。

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を構築する契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、◎：令和6年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
業① 地域推進 住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事	◎きらきらセミナー【CKP】	幅広い世代が交流するきっかけづくりと、社会性や適応力を高めるため、学びをとおして個々の豊かさを深めて人間力を高め心の豊かさを繋げる。 地域活動を通じて、自助・共助の理解を深めるとともに、次代の担い手の発掘・育成に取り組む。	全市民	7～2月	4回	【実施日】 令和6年7月17日 ～ 令和7年2月20日			【今年度の実施状況】 今年度のテーマを「大切なもののシリーズ」とし、4回の講座を企画した。食・コミュニケーション・健康（身体）・文化を大切なものとして、各講座を興味深く関心の高い内容として実施したことで、受講者のアンケート結果の99%が満足と回答している。 学習目標の幅広い世代の交流に資するため託児を設け、子育て世代の参加も概ね参加する状況であった。	【次年度の方向性】 講座内容については、テーマを持つことで、受講生の興味や関心を持つことに繋がったため、シリーズもので企画する。また、託児を設けるなど、幅広い世代が参加しやすいよう創意工夫を図り、企画するとともに、子育て世代（30代40代）の参加がより一層、繋がるよう講座内容の充実、開催日時等の調整や周知啓発に取り組んでいく。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	8～2月	2回	【実施日】 令和6年8月20日 ～ 令和7年2月18日				
進② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	親子の広場「はぐはぐ」	乳児を持つ親と子ども（子育て中の親子）が気軽に集い、親同士の情報交換、育児相談、子育て事業（年7回のお楽しみ講座「はぐはぐプラス」）を実施することで、親が精神的な安心感を持って、地域の子育て支援の充実を図る機会を提供する。	主に乳幼児（0～3歳）を持つ子育て中の親子	4～3月	19回	【実施日】 令和6年4月16日 ～ 令和7年3月18日			【今年度の実施状況】 毎年度、様々なプログラムを実施しており、今年度も全体的に高評価であった。定員に満たない回もあったので、十分な周知を徹底していく。	【次年度の方向性】 子育て世代の支援は重要項目であり、ニーズが高いことから継続実施とする。テーマについては様々なものをバランスよく実施し、より一層、受講者が満足していただけるよう、創意工夫を図りながら実施していく。
	わくわく教室	地域共生社会や多文化共生社会の推進につながる体験活動や交流を通じて、仲間との関わりを深めるとともに、育成会などの各種地域団体等と連携しながら郷土愛や生きる力を育む。 ICTを効果的に活用し、児童目線からの地域資源や地域情報を収集し、発表する機会を創出するなど、児童の自主性や自己肯定感を高める。	地域内の小学生	7～10月	3回	【実施日】 令和6年7月25日 ～ 令和6年10月12日				
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	【今年度の実施状況事例】 ・魅力協で行うイベント等をセンター内で情報提供している。 ・魅力協から提供された地域課題等について、迅速に関係課等へ連絡調整を行い、魅力協にフィードバックするなど、円滑に対応した。				
み③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組み	ひらり発見講座	各種地域団体との連携により、身近な地域活動を地域住民が体験・学習し、理解促進に繋げるとともに、地域資源の情報発信や有効活用することによって、地域に関心を持ち、地域活動の活性化や郷土愛を育む取組に繋げる。	全市民	6～9月	3回	【実施日】 令和6年6月1日 ～ 令和6年9月22日			【今年度の実施状況】 今年度は、これまでにない新しい内容平出工業団地出張オープンファクトリーを実施することができた。受講者の反応も好評であったことから次年度も、継続して実施していく。	【次年度の方向性】 今年度、好評だった平出工業団地出張オープンファクトリーは継続とし、今後も社会的に注目度の高いテーマについて、各種団体の協力を得ながら実施していく。
	二十歳を祝う成人のつどい	・成人（二十歳）が地域の人とともに「二十歳を祝う成人のつどい」を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことへの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	各1日	【今年度の実施状況】 新しい会場に変更して2回目となり、誘導等もスムーズにできるようになってきた。式典、地域交流事業もスケジュール通り実施できた。また、今年度から導入となったQRコードによる電子受付も担当者の事前の十分な事前準備により対応できた。				
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 71人 0人 50代				
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 32人 0人 70代				
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 333人 163人 30代				
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 33人 27人 10代				
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 175人 85人 40代				
						【実施回数】 中学校区 実施委員数 実施委員会実施回数 鬼怒 23人 1回				

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針	
流④ を持 支統 援的 する 地 域 住 教 育 の 学 基 盤 の 活 強 動 化 、 交	平石地区文化祭 (同時開催：農業祭)	・小学生の作品展示や、平石生涯学習センター利用団体による学習成果を発表することで、文化活動や生涯学習を推進する機会とする。また、参加することにより、地域住民との連帯意識の高揚を図る。	平石生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	48団体	300人	地域工業団地企業との連携・PRによる地域交流促進 幼稚園児や高校生によるステージ参加など若い世代の参画	【今年度の実施状況】 新たな取組みとして、平出工業団地企業の出展や高校生バンド、鮎の塩焼き、フェイスアート、ガラガラ抽選会など、若い世代の参画をねらい、より来場者が増えたほか、地域連携や賑わい創出を図れた。	【次年度の方向性】 地域主体のアイデアや意見を活かして、地域住民同士が文化交流を活性化させ、コミュニティの輪を広げるとともに、平出工業団地企業との連携を継続的に深めて、事業内容の充実を図る。 生涯学習の発表の場として、学ぶことの大切や郷土愛を育む取組をより一層繋げていく。
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・時節にあった内容等の掲示により、来所する市民に対して、周知啓発を実施 ・生涯学習団体や地区内の放課後子ども教室等の活動成果（制作物など）の発表の場として、センターロビーに展示スペース（ギャラリーひらいし）を提供している。 ・地域活動等の画像を放映し、活動のPRや地域のイベント等を紹介をしている。		【今年度の実施状況】 センターロビー展示スペース（ギャラリーひらいし）の周知により、生涯学習団体の作品展示の希望が増加し、生涯学習団体のPRに繋がられ、センター利用者の癒しや生涯学習事業への関心にも繋がった。 地域主催の「私の好きなLRTと平石の風景」写真展の展示を行い、来場者にも好評だった。	【次年度の方向性】 継続して、センター内で講座のチラシやポスターによる周知啓発を図り、生涯学習情報を提供する。 継続して、生涯学習団体等の活動成果（制作物など）の発表の場として、センターロビー展示スペースを提供する。 引き続き、各種地域団体の活動を動画やSNS等を活用して情報発信に取り組む。	

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、◎：令和6年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
推① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の	青少年指導者・育成者研修会	地区内の青少年育成協議会及び子ども育成会連絡協議会などと連携し、新たな地域居住者とのつながりを育みながら、子育て中の若年世帯の不安解消や地域で子育てに関わる人材のスキルアップを図ることを目的とした講座を開催する。	地区内青少年育成関係者	2月	1回	【実施日】 令和 7 年 2 月 22 日 ~ 令和 7 年 2 月 22 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 4 作新学院大学,青少年育成協議会,子ども育成連絡協議会,市教育委員会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 26 人 9 人 40 代	【今年度の実施状況】 青少年育成協議会及び子ども育成会連絡協議会などと連携し、今年度については、導入間もない小学校英語教育の家庭でのサポートについて、地域内教育機関講師を招聘し、地域連携による家庭の教育力の向上を図る講座を実施する。	【次年度の方針】 引き続き、地域の実情や課題の分析により、地域のコミュニケーションと子育てにかかわる人材のスキルアップにつながる講座を実施していく。 次年度については、子どもたちの自立性を育むための大人のファシリテーションスキルの向上を目指す講座の実施により、地域が自ら学び育つ環境づくりに寄与する講座とする。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデハイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	7~1月	2回	【実施日】 令和 6 年 7 月 30 日 ~ 令和 7 年 1 月 21 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 40 人 0 人 70 代	【今年度の実施状況】 年間2回実施し、いずれも好評で多くの受講申込者があり、現在のデジタルの生活の浸透に不安があるシルバー世代にとって、良いきっかけづくりとなる内容が提供できた。	受講者からは好評であり、さらに高度な内容を望む声や継続して受講したいとの希望もあることから、デジタルデハイドに対応する講座を、継続的に実施していく。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	ふれあい子育て広場	親子のふれあいを通し、親子の絆を深めるとともに、同世代の保護者同士の交流を深め、子育て世代の不安解消を図り、生き生きとした親子関係を育む。また、作新学院大学との連携により、専門的な学習内容を提供するなど、子育て世代の学習機会の充実を図る。	乳幼児（0~3歳児）とその保護者	10~12月	6回	【実施日】 令和 6 年 10 月 11 日 ~ 令和 6 年 12 月 12 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 2 作新学院大学 地域保健福祉担当（東部） 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 132 人 66 人 30 代	【今年度の実施状況】 子育ての不安解消のテーマ選定（健康、栄養、親子フィットネス等）や、同世代の保護者、子どもたちの交流を深めるためのテーマ（ダンススクール、お楽しみ会）等を年間を通じ実施し、好評を得た。	【次年度の方針】 地域の課題として、新興住宅地の建設に伴う人口流入によるコミュニティの希薄化や核家族化があることから、子育ての不安の解消と親子の交流とコミュニティ、仲間づくりに資する講座を継続して実施していく。
	チャレンジ遊び塾（段ボールクラブ）	日常生活では体験できない「遊び」や「学び」を通じて、新たな物事への好奇心やチャレンジ精神を育む。	地区内の小学校に通学又はお住まいの小学3~6年生	8月	1回	【実施日】 令和 6 年 8 月 6 日 ~ 令和 6 年 8 月 6 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 本田技研工業(株) ドリームハンス 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 35 人 35 人 10 代	【今年度の実施状況】 子どもたちに関心の高い、レーシングカーやアシモをダンボールクラブで作成し、自分の手でモノを作り上げる「楽しさ・喜び」を体感させることができた。	【次年度の方針】 本田技研工業(株)と連携した講座（全メニュー）を過去3年間で実施完了したため、多くの児童が興味・関心をもてる、新たな講座内容の企画を検討していく。
	企業体験教室（レンズ工作教室）	清原工業団地の企業との連携による講座を開催し、「日本のものづくり」の技術や、日本を代表する企業が地域にあることを認識させ、子ども達の郷土の誇りと愛着を育む。	地区内の小学校に通学又はお住まいの小学3~6年生	8月	1回	【実施日】 令和 6 年 8 月 8 日 ~ 令和 6 年 8 月 8 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 キヤノン株式会社 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 24 人 24 人 10 代	【今年度の実施状況】 「カメラレンズ」の仕組みや技術について楽しく学び、日本を代表する企業が地域にあることへの誇りと郷土愛の醸成へと繋げることができた。	【次年度の方針】 地域企業と連携し、学校や家庭では学ぶことのできない「ものづくりの素晴らしさ」を体感できる講座を引き続き開催する。学習効果が更に高まるよう、地域企業を会場とした講座開催について調整・検討したい。
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 令和6年度は「ライトライン開業1周年を過ぎ清原中100周年を迎える20年後の清原について」をテーマに中学生と地域住民が親交を行った。	【今年度の実施状況】 清原中学校生徒会が実施する地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行った。	【次年度の方針】 今後は「清原地区をもっと知る」「ライトラインの魅力発信」「もっと人が集まるまちづくり」などをテーマに地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行っていく。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
つ③ な地 げ域 理仕 解組 を促 進す る講 座と 学ん だ成 果を 活動 に	◎清原の魅力を発信しよう!!	地域住民が地域の歴史・文化や農産物などの地域資源の魅力を幅広く学び、わがまち意識の醸成を図るとともに、SNS等を活用した情報発信や、新たな賑わいの創出が図れるような講座を開催する。	地区内住民	10～12月	3回	【実施日】 令和6年10月12日 ～ 令和6年12月14日			【今年度の実施状況】 地域住民をはじめ多くの方が興味を持てる内容であったため、定員を超える応募があった。また、現地の館外学習により更に清原の魅力を知る事ができた。		【次年度の方向性】 地区内の歴史・文化等及びその歴史を語る人による講話など、「まちづくり」にも繋げながら、清原地区の観光振興に向けて継続して実施する。 学生から学んだSNS等を更に観光振興としてつなげていけるように情報発信していきたい。	
						【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 作新学院大学						
							【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 175人 3人 70代					
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳となった成人が地域の人とともに式典を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、二十歳となった成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	【今年度の実施状況】 スムーズな式典運営を行うため、委託業者や会場担当者との事前の打ち合わせや会場の見学を行うことでできた。		【次年度の方向性】 次年度も式典会場の下見、業者との打ち合わせ、実施委員各担当の当日の流れなどの周知を図っていきたい。	
地④ 域持 続的 のに 基盤 の住 強民 化の 学習 や活 動・ 交流 を支 援す る	清原地区文化祭	清原生涯学習センターの利用団体が、日頃の成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	生涯学習センター利用団体及び地区内小中高大学生等	11月	1回	出展団体数	延来場者数	特色	【今年度の実施状況】 清原体育館無料開放デーとの同時開催により、清原公園、清原球場を会場に拡大するとともに、ライトライン停留場を周遊するスタンブラリーの企画実施により、多くの来場者による賑わいの創出と文化活動発表を楽しんでいただく機会につながった。		【次年度の方向性】 清原地区の文化活動、食・農を地区内のみならず多くの人に知っていただけるよう、地区内外への情報発信に注力する。	
						52団体 (うち個人10人)	3000人	・清原体育館の無料開放デーに併せて開催 ⇒清原公園も含め会場の拡大（農業祭会場）、来場者駐車場の確保 ・LRT開業1周年記念事業との連携 ⇒停留場をスタンブラリーポイントにしライトラインでの来場者の拡大と利用者の促進				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・センター主催講座の情報提供について、当センターロビー等に限らず、近隣商業施設や関係団体を通じた周知や情報提供を行うとともに、生涯学習に興味関心を引くため、文化祭作品ロビー展示を長期に行った。			【今年度の実施状況】 生涯学習センター内に設置している「地域情報コーナー」に利用団体のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。また、生涯学習団体による文化祭作品ロビー展の長期開催については、来館者からの興味関心を得ることができた。		【次年度の方向性】 引き続き、センター内の「地域情報コーナー」において、チラシやポスター等の媒体をとおして生涯学習情報を提供する。生涯学習サークルの活動内容の周知案内については、文化祭の作品展示等の機会の活用を図る。	

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズを捉えた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考へる契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用を努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、◎：令和6年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	ことぶき塾	日常生活に即した課題や社会問題、歴史、文化、芸能等、生きがいの創出につながるような講座を開催することで、高齢者がいつまでも元気でいきいきと豊かな暮らしを送れるよう支援を図る。	横川地区の60歳以上の住民	6～11月	5回	【実施日】 令和6年6月13日～ 令和6年11月28日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 4 よこかわ地域包括支援センター 姿川地区市民センター 五光、そば打ち和楽の会東部 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 51人 0人 70代	【今年度の実施状況】 高齢者の生活における問題などをテーマにした講座や、いつまでも元気でいられるように運動や健康についての講座、また、生きがいの創出につながるような講座を開催することができた。 課題としては、コロナ以前と比べ受講者が減少傾向にあることから、講座内容等を精査し、より関心を持ってもらえるよう講座を企画していく。	【次年度の方針】 引き続き、高齢者の生きがいとなり、より良い暮らしができるよう参加される方が満足できる講座を開催していく。
	大好きヨコカワ【CKP】	地区内の小学生の子を持つ親子を対象に、地域の特色を親子と一緒に学び・活動することで、地域の魅力の再発見に繋ぎ、地域への愛着の醸成を図る。	横川地区住民等	2月	1回	【実施日】 令和7年2月15日～ 令和7年2月15日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 JAうつのみや専門部宇都宮支店横川分会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 24人 12人 10代	【今年度の実施状況】 親子で、横川地区の農産物を学びながら食育と共に、地域の魅力を知ること、地域に愛着を持つことを目的に行った。 具体的には、横川地区の農産物の一つ「いちご」にスポットを当て、イチゴ農家からイチゴの魅力を話してもらい、料理研究家の指導のもと、小学生親子で協力しあって、イチゴを使ったスイーツを作り、横川の地域の魅力を再発見した。	【次年度の方針】 親子が取組む共通の題材を講座のテーマとして設定し、親子の触れ合いを深めることを目的として有効であるため、引き続き継続して実施していく。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	9～1月	2回	【実施日】 令和6年9月18日～ 令和7年1月28日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 39人 人 70代	【今年度の実施状況】 講師の説明がとてわかりやすく、また補助の方も3～4人いたので、一人一人にきめ細かく対応でき受講者はとても満足していた。しかしながら、高齢者の方にとって操作は難しく、1回の講座で覚えることは容易なことではないので、繰り返し講座を開催していくことが必要と感じた。	【次年度の方針】 人気の高い講座であり、繰り返し開催していくことが必要であるので、引き続き開催していく。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	親子のびのび講座	就園前の幼児期に、体操やレクリエーション等を通して、親子のスキンシップを深め、親子双方の育ちを支援するとともに、同じ子育て世代同士が知り合う場や母親のライフデザインを考へる契機を提供する。	2～3歳児とその保護者	7～12月	5回	【実施日】 令和6年7月21日～ 令和6年12月11日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 横川スポーツクラブ 宇都宮短期大学 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 64人 33人 30代	【今年度の実施状況】 生の演奏を聴くコンサート、読み聞かせや親同士の交流会など、新たな内容を盛り込んで講座内容の充実を図り、参加者アンケートからも満足度が高い講座が実施できた。参加者数は定員には満たないものの、参加した方からは講座に対する満足度は高評価をえている。次年度は、DXによる開催周知の手法により、より多くの参加者を募るようするとともに、引き続き参加者ニーズにあう講座内容の充実を務めていく。	【次年度の方針】 引き続き講座の目的である親子双方の育ちの支援、子育て世代同士が知り合う場や母親の自己肯定感を高めるために有効な講座であることから、継続的に実施していく。
	夏休みワクワク体験教室	児童が、同年代の子ども達と「ものづくり」などの体験活動を通して仲間意識を育みながら、創意工夫する力を身に付ける講座を実施する。	小学生	7～8月	3回	【実施日】 令和6年7月31日～ 令和6年8月21日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 3 横川中央・西小放課後子ども教室 タミヤロボットスクール 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 48人 48人 10代	【今年度の実施状況】 地域の関係者と連携を図るとともに、プログラミングの講座を設けるなど児童が興味、関心のある内容の講座が実施でき、参加者からも十分楽しめたとの評価があり当初計画どおりの実施ができた。	【次年度の方針】 講座の目的である「学ぶ楽しさ」「自ら考へることや仲間づくりに有効な講座であるため、次年度も継続実施していく。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 ・横川中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援	【今年度の実施状況】 ・横川中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援	【次年度の方針】 ・今後も継続して、地域協議会の委員として協力・支援を行っていく。
③ 地域なごり解を促進する実講座と学んだ成果を活動	まるごと横川【CKP】	地域学講座として地元横川の魅力などについて学ぶことを通して、地域に対する理解や愛着を深め、地域づくりに対する意識の醸成を図ることで、人材育成や地域ビジョンの推進につなげる。	横川地区住民等	10～11月	2回	【実施日】 令和6年10月19日～ 令和6年11月16日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 まちづくり協議会 伝統・文化部会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 28人 0人 70代	【今年度の実施状況】 地域の文化財調査員と連携を図り、地域の歴史や史跡等の知識を学ぶ講座が実施でき、参加者からも十分勉強になったとの評価があり、概ね当初計画どおりの実施ができた。引き続き、地域ビジョンに取り組みの一つとして魅力ある講座内容を設定していく。	【次年度の方針】 横川地区の文化財の冊子をリニューアルするため、歴史史跡等に興味のある方々に冊子作成に参加・協力してもらえるよう、次年度も継続実施していく。
	二十歳を祝う成人のつどい	成人(二十歳)が地域のひととともに成人のつどいを作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、成人(二十歳)が地域のひとから学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施委員会 実施回数 横川 28人 1回	【今年度の実施状況】 横川地区で栽培され、加工された地産地消のさつま芋「はっぴーほしいもん」を、協賛金により、成人(二十歳)のみなさんへ記念品として贈呈。 滞りなく無事に執り行うことができた。	【次年度の方針】 今年度同様の形で継続して実施する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針	
流交、	横川ふれあいまつり（文化祭）	横川生涯学習センター利用団体や地区内の小中学校及び各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上や生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	横川生涯学習センター利用団体 地区内の小中学生及び各種団体 一般市民	11月	1回	44団体	1300人	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮牛入りカレシ無料配布 宮PASSを持参した世帯に会場内の飲食ブース等で使える割引券配布（200円/世帯ごと1回限り：市自治会連合会の補助金を活用） 地域伝統芸能お囃子会と子ども神輿と大人神輿が共演し会場を練り歩きエンディングセレモニーに！など 	【今年度の実施状況】 昨年より参加団体数20増、のべ来場者数500人増と大盛況だった。	【次年度の方向性】 今年度同様の形で継続して実施する。
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター内に設置している掲示板へ、公共的学習事業団体等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の掲示スペースを提供した。 		【今年度の実施状況】 ・学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供、およびサークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供した。	【次年度の方向性】 ・今後も継続して、生涯学習センター内において学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 ・今後も継続して、生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供する。	

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要					令和6年度事業実績・評価・今後の方針				
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
業①の地域推進住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事	◎女性のための大人の学び講座	子育てなどが落ち着いた女性が、健康に関することや本センターで活動する自主学習グループに参加することなどで学び、継続的な「学び」へのきっかけづくりと参加者同士の交流を行う。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	10月	2回	【実施日】 令和6年10月21日 ~ 令和6年10月23日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 65人 0人 70代			【今年度の実施状況】 韓国料理をつくる実習や陶芸体験などを実施した。人数が集まらなかった講座もあることから、内容を再検討する。	【次年度の方向性】 参加者の交流場になっていることや、学びのきっかけにもなっていることから、継続とする。
	スマホ基礎講座	スマホの操作を学んで、日常生活を便利にするため、必要な知識・技術を身につける。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	8~2月	3回	【実施日】 令和6年8月1日 ~ 令和7年2月6日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 51人 0人 70代			【今年度の実施状況】 様々な場面でスマホ端末を利用する機会が増えたことや、この講座が地域に浸透したことにより参加者が増えた。	【次年度の方向性】 今後も、デジタル化に向けて必要な講座であるため、継続して実施する。
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	なかよし親子の広場	幼児期の成長に必要な遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親子双方の育ちを支援する。また、子育てに必要な知識の習得を促すとともに子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	地区に居住または近隣にお住いの1歳半から就園前までの子どもと保護者	6~10月	7回	【実施日】 令和6年6月6日 ~ 令和6年10月31日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 平石地区市民センター保健福祉G 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 198人 100人 30代			【今年度の実施状況】 リトミックや保育士とのレクリエーションなど親子で参加する講座を各種実施した。周知方法を再検討したことにより、参加者の増加につながった。	【次年度の方向性】 子育てしている世代からのニーズの高い講座であるため、継続とする。
	はっぴー子育て講座	乳児期の大切な時期に親子のスキップや学びを通して、家庭における子育て力の向上を図るとともに、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。	地区周辺にお住いの方、4ヶ月以上から1歳未満の赤ちゃんとその保護者	7月	2回	【実施日】 令和6年7月1日 ~ 令和6年7月12日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 平石地区市民センター保健福祉G 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 12人 6人 30代			【今年度の実施状況】 地域に対象となる世代が減少してきている。周知の範囲や方法を再検討する。	【次年度の方向性】 子育ての不安などに対する専門職のアドバイスが受けられ、地域のニーズが高い講座であるため、継続とする。
	少年ふるさと教室	体験活動を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する青少年	5~1月	2回	【実施日】 令和6年5月11日 ~ 令和7年1月19日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 瑞穂野地区青少年育成会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 550人 550人 10代			【今年度の実施状況】 瑞穂野地区青少年育成会と連携し、「れんげまつり」や「歩け歩け大会」を実施している。参加者が少しずつ減ってきている。周知方法や時期などを再検討する。	【次年度の方向性】 共催する青少年育成会との連携もよく、地区内の4小中学校の交流のため継続する。
	親子チャレンジ教室	専門家や地域のボランティアによる指導を受けながら、親子でいろいろなことにチャレンジすることにより絆を深めるとともに、体験活動等を通して青少年のリーダーとしての資質向上と育成を図る。また、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設けて子育ての一助とする。	瑞穂野地区内に居住する青少年の親子	7~12月	4回	【実施日】 令和6年7月25日 ~ 令和6年12月22日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 90人 49人 30代			【今年度の実施状況】 おやつ作りや化学体験教室などを実施した。館外学習などの参加者が減少傾向にあることから内容を再検討する。	【次年度の方向性】 地域のニーズが高い講座であるため、継続とする。
	リーダー講習会	地区内の6年生を対象に、宿泊研修を行い、他校の仲間と交流を図る。	瑞穂野地区内に居住する青少年	8月	1回	【実施日】 令和6年8月2日 ~ 令和6年8月2日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 瑞穂野地区青少年育成会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 41人 26人 代			【今年度の実施状況】 宿泊での開催を予定していたが、参加者が集まらず、日帰りの開催となった。参加しやすい日程や内容を再検討する。	【次年度の方向性】 共催する青少年育成会との連携もよく、地区内の3小中学校の交流のため継続する。
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 ・瑞穂野中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援			【今年度の実施状況】 ・地域協議会に出席し、情報共有・意見交換等を行った。	【次年度の方向性】 ・今後も継続して、地域協議会の委員として協力・支援を行っていく。	

重点項目	事業の概要					令和6年度事業実績・評価・今後の方針				
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針	
つ③な地 域の理 解組を み進 充す 実 講座と 学んだ 成果を 活動に	地域学「みずほの」	地域の特性や歴史、文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	2月	3回	【実施日】 令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 2 月 15 日		【今年度の実施状況】 瑞穂野のチタクについて学ぶ講座や瑞穂野産のいちご等をつかった実習を行った。地域の食材を使った実習について特に好評であった。	【次年度の方向性】 地域について学ぶことで、まちづくりに関心を持ってもらえることから、継続する。	
						【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】				
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 33 人 0 人 70 代				
	二十歳を祝う成人のつどい	成人が地域の人とともに成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区 実施委員数	実施委員会 実施回数	【今年度の実施状況】 成人のつどいの際に、撮影したスナップ写真をロビーに掲示し、無料で配布を行った。好評であった。 昨年度と同じ会場での開催で、スムーズに行うことができた。	【次年度の方向性】 今年度同様の形で行う。	
						瑞穂野	21 人 1 回			
流交、	【みずほのフェスティバル】 瑞穂野生涯学習センター 文化祭 (同時開催：農業祭・福祉まつり)	センター利用団体の学習成果の発表、小中学生の作品展示等の生涯学習の推進及び特色ある地域文化の向上発展、地域による主体的な地域づくりの推進、並びに地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般成人等・センター利用団体	11月	1回	出展団体数	延来場者数	特色 「宮PASS」を持参した方に、割引チケット配布。	【今年度の実施状況】 前年と同様の内容で開催ができた。「宮PASS」の活用もあり、多くの方が来場者し、盛況だった。	【次年度の方向性】 今年度同様の形で行う。
						13団体	2000人			
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の掲示スペースを提供した。 ・団体一覧を作成し、活動を希望する人に配布。		【今年度の実施状況】 ・学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供、およびサークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供した。	【次年度の方向性】 ・今後も継続して、生涯学習センター内において学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 ・今後も継続して、生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供する。	

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズを捉えた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
業①の地域推進住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事	◎ヒトマチづくり	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行い、地域で活躍できる人材の育成を図る。また、実践的な活動を通して、地域まちづくり意識の高揚を図ることを目指す。	城山地区防災協力員	7月	1回	【実施日】 令和 6 年 7 月 7 日 ～ 令和 6 年 7 月 7 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 城山地区防災会	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 30 人 0 人 60 代	【今年度の実施状況】 カードゲーム形式であるが避難所開設の難しさを体験することができた。学生など若年世代の参加を促してはどうかとの意見があった	【次年度の方針】 防災会と連携し、対象世代をどこにするのか、テーマや手法なども含め、効果的な防災意識の普及啓発について検討する。
	◎いきいきセミナー	多様化する住民のニーズに合わせて、今、住民が必要とする情報や学習機会を提供することで、生涯学習のきっかけとなり、心豊かな生活の一助となるよう支援する。	地域内住民	6～2月	3回	【実施日】 令和 6 年 6 月 23 日 ～ 令和 7 年 2 月 5 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 ハヤブサドットコム	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 47 人 0 人 70 代	【今年度の実施状況】 地域におけるデジタル化を推進するため、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図ることができた。反響が大きく、定員を上回る参加申し込みがあった	【次年度の方針】 これまでスマートフォン等の利活用に消極的であった高齢者からの応募が多いことから、継続的に実施していく
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	ともぞたち広場	乳幼児の保護者と乳幼児が季節の行事やレクリエーションを通して、親子のふれあいや人との関わりを学ぶ。また、親同士が情報交換や情報を共有しながら、親子共々成長していく過程を支援していく。	0～3歳までの乳幼児とその保護者	5～1月	8回	【実施日】 令和 6 年 5 月 15 日 ～ 令和 7 年 1 月 27 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 170 人 84 人 30 代	【今年度の実施状況】 リトミックや各種レクリエーション、栄養士による食事の講座など実施した。参加者の満足度の高い講座が実施できた。	【次年度の方針】 0歳でも楽しめるような企画を検討していく。
	親子でここにこクッキング	命の源である食に対する興味や健康への関心を高め、親子で調理することにより、親子の絆を深める。また、地場産の食材を活用し、地域への関心を喚起する。季節の野菜を食材とすることで、季節を感じる豊かな心を育む。	地区内小学校3～6年生とその保護者	7～12月	2回	【実施日】 令和 6 年 7 月 13 日 ～ 令和 6 年 12 月 14 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 城山地区食生活改善推進員協議会	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 28 人 15 人 30 代	【今年度の実施状況】 募集の対象を広げたので参加者が増えた。リビート参加者が多かったため、新しい参加者を発掘する必要がある	【次年度の方針】 周知方法を工夫し、新たな参加者の発掘をする。
	★親子寄せ植え講座	親子で季節の花を植えることで季節を感じる豊かな心を育むとともに地域の環境にも関心をもってもらう。	地区内小学校に通学する4～6年生の児童とその保護者	12月	1回	【実施日】 令和 6 年 12 月 7 日 ～ 令和 6 年 12 月 7 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 - 人 - 人 - 代	【今年度の実施状況】 対象を親子としてことで開催時期が限定的となってしまった。且つ講師スケジュールを調整するなかで寄せ植えに適した季節に日時を設定できなかったため応募者がいなかった。	【次年度の方針】 参加者の枠組みやテーマを見直し、別の講座を企画していく
	★科学体験教室	いろいろなことに活用をされているドローンを実際に体験する学びを通して学習意欲を高め、広い視野を持てる力を育てることにつなげる。	地区内小学校に通学する3～6年生の児童	9月	2回	【実施日】 令和 6 年 7 月 26 日 ～ 令和 6 年 9 月 29 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 栃木県生涯学習課	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 39 人 39 人 10 代	【今年度の実施状況】 市衛生環境試験所やちぎ子どもの未来創造大学の出前講座を活用することで、多くの応募があり、参加者にとって満足度の高い講座を実施できた。	【次年度の方針】 毎年内容を変更するなどの工夫を行い、新たな参加者の発掘とともに昨年の参加者も参加したくなるような教室にしたい。
	★陶芸と稲刈り体験	地域の人材や資源を生かして人との交流の機会を提供する。	小学生およびその保護者	10月	2回	【実施日】 令和 6 年 10 月 5 日 ～ 令和 6 年 10 月 19 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 城山地区コミュニティ協議会	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 38 人 20 人 10 代	【今年度の実施状況】 ものづくりやアート、農業体験などとおして参加者に普段得難い体験を提供することができ、大変好評だった。	【次年度の方針】 学びの場のみでなく、地域活性化や人の交流の場として有効であり、様々な効果が期待できることから、新規事業として企画していく。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 城山中学校魅力ある学校づくり地域協議会と協力し、生涯学習講座「しろやま地域学」を実施		【今年度の実施状況】 企画段階から協議に加わり、より充実した内容になるよう支援した。	【次年度の方針】 地域協議会の主体的な活動を支援していく	

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
け③ る地 仕域 組理 み解 のを 促進 する 講座 と学 んだ 成果 を活 動につ な	しろやま地域学	豊かな自然や文化財などの地域資源を知ること、地域の魅力や課題に気付くきっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。	地域内住民	8月	1回	【実施日】 令和6年7月26日 ～ 令和6年7月26日			【今年度の実施状況】 城山の豊かな自然や文化財などの地域資源を再認識することができた。関係団体との連携に努め実施していく。		【次年度の方向性】 講座内容を定型化せず、その時の社会情勢や地域のニーズに合った講座を企画をする。	
						【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 城山中学校地域協議会						
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 41人 0人 50代						
	二十歳を祝う成人のつどい	成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1回	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 成人（二十歳）の実施委員の意向をうけて、立食形式で懇親する時間を設けた。	【次年度の方向性】 成人（二十歳）の実施委員の意見を聞き、会食機会を提供するか検討する。	
						城山	8人	1回	業務の効率化を図り、円滑に式典を開催した。また協賛金を使用して地域特有の記念品を配付した。			
を④ 支持 援続 するに 地地 域域 教住 育民 の基 学盤 習の や強 活化 動 、交 流	城山生涯学習センター文化祭	地域住民の自主性と創意によるコミュニティ活動を促進し、特色ある地域文化の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	城山生涯学習センター利用団体 地域内小中学校県立盲学校 各種団体 一般市民	11月	1回	出展団体数	来場者数	特色	【今年度の実施状況】 各日とも来場者が多く活況であった。	【次年度の方向性】 地域と連携し、より楽しい文化祭を目指す		
						42団体	970人	城山地区連合自治会主催の「しろやまeスポーツ大会」のプレイベンとして、eスポーツの体験と縁日を掛け合わせたミニイベントを実施				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、サークルメンバー募集などの情報を提供した。 ・区内の放課後保育サービス事業者の活動報告をセンター内に掲示した。			【今年度の実施状況】 これから生涯学習サークルに参加したいと申し出る市民が多かった。	【次年度の方向性】 マナビスの活用を含め、生涯学習サークルの紹介していく手法を検討する。		

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズを捉えた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	くにもと元気アップ講座	地域の人々が日々元気で生き生きとした生活を送れるよう、フレイル予防等について学び、健康寿命の延伸に役立てるとともに、受講者同士の交流を通じて地域の絆を深めていく。	地区内在住の成人	6月	2回	【実施日】 令和 6 年 6 月 4 日 ～ 令和 6 年 6 月 18 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】		【今年度の実施状況】 座学よりも全身を使った講座が大変好評であることから、引き続き実施していく。	【次年度の方向性】 地区の健康意識が低いことから、さまざまな内容を盛り込み、健康度向上に向けて引き続き取り組んでいく必要があることから、継続して実施する。
	◎くにもと生き生き教室【CKP】	地域団体と連携しながら、防災意識を啓発する講座を開催することで、国本地区の人が安心・安全かつ生き生きとした生活を送れるよう地区の防災力を高めるとともに、受講者同士の交流を通じて地域の絆を深めていく。	地区内在住の成人	8月	1回	【実施日】 令和 6 年 8 月 31 日 ～ 令和 6 年 8 月 31 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 国本地区づくり振興会		【今年度の実施状況】 地区の各種団体や自治会長などの参加を促すことで、地域の安全・安心な暮らしのための防災意識の高揚に役立つ講座となった。今後は地域活動を担う人だけでなく、個人が防災を意識し、どのように関わっていくのかを認識させる必要がある。	【次年度の方向性】 災害が多発しており、子どもから高齢者まで幅広い年代に防災意識を啓発する講座を実施し、地域に浸透させる必要があるため、継続して実施する。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学ぶ。	市内在住もしくは在勤のスマートフォン初心者	7～2月	2回	【実施日】 令和 6 年 7 月 9 日 ～ 令和 7 年 2 月 7 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 ハヤブサドットコム		【今年度の実施状況】 参加者からは概ね好評であるが、個人の技術的なレベルの差が大きく、多数の質問に回答が追いつかない場面があったため、講師以外にアシスタントの数を増やすなどの対応が必要にあると思われる。	【次年度の方向性】 受講者から「次回も参加したい」などの声も多くあり、満足度の高い講座となったことから、継続して実施する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	親子ワクワク教室	親子でのさまざまな体験等を通して、子育ての悩みを解決するための知識を習得するとともに、同世代の親子と触れ合い情報交換することで、家庭や地域内での教育力の向上に役立てる。また、保健師の講話を聞くことで、子育ての環境をより充実できるよう、子どもと保護者それぞれの健康管理について学ぶ。	市内在住の未就園児とその保護者	6～12月	6回	【実施日】 令和 6 年 6 月 20 日 ～ 令和 6 年 12 月 11 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】		【今年度の実施状況】 多くの参加申し込みがあり、毎回参加者から好評を得ることができた。	【次年度の方向性】 さまざまな体験等とおして同世代の親子と触れ合うとともに、情報交換の場とすることで、地域の教育力を向上させるため、継続して実施する。
	夏休みチャレンジ教室	小学生の夏休みの宿題に役立つ工作や科学実験など、体験型の講座を開催することで、ものづくりや科学の楽しさを学ぶとともに、他学年・他校の児童との交流を通じ、仲間づくりを図る。	地区内の小学4年生～6年生	7月	2回	【実施日】 令和 6 年 7 月 27 日 ～ 令和 6 年 7 月 30 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 帝京大学理工学部		【今年度の実施状況】 帝京大学の協力を得て、プログラミングや光合成の実験という学校ではなかなか経験できない講座を提供し、参加者・保護者にも大変好評であった。	【次年度の方向性】 学校では学べない内容を地域に身近な生涯学習センターで体験できるとともに、他校との交流も図れることから継続して実施する。
	くにもとyou・遊・club	地域や学校と連携し、地域で採れた食材で伝統食やお菓子を作ることで、親子で地域の良さや食の大切さを再認識してもらい、郷土愛の醸成や地域の活性化のきっかけ作りとする。	地区内の小学生	12～1月	2回	【実施日】 令和 6 年 12 月 15 日 ～ 令和 7 年 1 月 18 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】		【今年度の実施状況】 小学生に地域の良さやすばらしさを知ってもらうことを目的に、地域の先生(プロ)に学ぶ機会を提供したが、大変好評であり、また、地域理解に繋げることができた。	【次年度の方向性】 小学生の地域理解に繋がるとともに、身近な場所でも本物を学ぶ機会を提供できることから、継続して実施する。
③ 地域組織の活性化を促進する講座と学	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 国本中学校魅力ある学校づくり地域協議会の構成メンバーとして会議や行事に出席し情報交換するとともに、当センターを会場に実施している学習支援事業「ありんこ学習室」などの実施について支援した。			【今年度の実施状況】 国本中学校魅力ある学校づくり地域協議会の構成メンバーとして会議や行事に出席し情報交換するとともに、当センターを会場に実施している学習支援事業「ありんこ学習室」などの実施について支援した。	【次年度の方向性】 今後も継続して事業実施などについて支援していく。
	◎10倍楽しむ国本塾【CKP】	地域団体と連携し、歴史・文化と地域行事、特産品などを組み合わせた地域学講座を開催することで、地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成するとともに、その学習成果を地域課題解決のために還元できる人材の育成を図る。	地区内在住の成人	6～11月	5回	【実施日】 令和 6 年 6 月 29 日 ～ 令和 6 年 11 月 30 日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 国本地区づくり振興会		【今年度の実施状況】 地区内の5つのみや遺産について座学で学んだあと実際に現地学習するなどするとともに、ワイナリーや柚子園などの地域資源についても学び、新たな視点からアプローチしたことで、満足度の高い講座となった。	【次年度の方向性】 地域の良さを再認識し、学習の成果を還元できる人材を育成するため、継続して実施する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針					
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針	
んだ 成果を活動につな	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳の成人が地域の人とともに集いを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、成人が地域の人から学べる場、地域へつながる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1回	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数		【今年度の実施状況】 地元企業の商品を記念品やお礼の品に取り入れた。 安定した実施委員に活動で、スムーズな運営が行われた。	【次年度の方向性】 引き続き安定した運営を行う。また、地域交流事業内容を充実させる。
						国本	23人	1回			
る④ 地持 域続 教的 育に の地 基盤 住の 民強 の化 学習 や活 動、 交流 を支 援す	国本生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、団体同士の交流を図るとともに、文化活動の向上と生涯学習を推進する。	国本生涯学習センター利用団体 地区内小中学校 一般市民	11月	1回	出展団体数	延来場者数	特色		【今年度の実施状況】 例年通りの2日間での開催となり、多くの来場者で賑わい、地域の方に生涯学習事業を広く知っていただくことができた。	【次年度の方向性】 次年度も2日間開催することとし、今年度参加を見送った団体にも積極的に参加してもらうよう声掛けをしていく。
						20団体	約1000人	・文化祭と地区農業祭を同時に「くにもとまつり」として開催し、賑わいを創出している。 ・国本西小学校の「宗円獅子舞」や文化財資料の展示で、地域の特色ある文化祭となっている。			
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例			【今年度の実施状況】	【次年度の方向性】	
						生涯学習センターに設置している掲示板にサークルのチラシやポスターを掲示するとともに、希望者に当センターの登録団一覧を配付することで、生涯学習情報を提供した。			生涯学習センターに設置している掲示板にサークルのチラシやポスターを掲示するとともに、希望者に当センターの登録団一覧を配付することで、生涯学習情報を提供した。	今後も継続して市民に対し生涯学習情報を提供する。	

基本方針

市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。
 (ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考へる契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。
 (イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。
 (ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。
 (エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。

★：令和6年度新規事業、◎：令和6年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針					
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	シニア講座	情報化や少子高齢化など、高齢者を取り巻く環境が変化している中、日常生活に即した課題解決に取り組むとともに、高齢者がいつまでも元気で心豊かに過ごせるよう、仲間づくりや生きがいづくりなどの支援を図る。	地区内の60歳以上の成人	10～12月	2回	【実施日】 令和6年10月24日 ～ 令和6年12月5日			【今年度の実施状況】 歌の講座や料理教室などを実施した。自治会回覧や団体への勧誘などを実施し、引き続き参加者を確保していく。	【次年度の方向性】 講座内容（趣味や生きがい、食生活改善）等への満足度も高いことから、継続して開催していく。	
	【連携実績】						【参加者数】				
	連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】						合計	うち子ども			主な世代
							24人	0人			60代
	とみや女性学	富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通して、地域のネットワークを広げるとともに、女性の力で地域カアップを図る。	富屋地区在住の成人女性	6～8月	3回	【実施日】 令和6年6月19日 ～ 令和6年8月8日			【今年度の実施状況】 富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通して、地域のネットワークを広げるとともに、女性の力で地域カアップを図ることができた。	【次年度の方向性】 参加者の満足度は高かったものの、男性からの受講希望があったことなどから「とみや女性学」は廃止し、参加者を性別で限定することなく広く学習の場を提供する講座を新たに企画する。	
	【連携実績】						【参加者数】				
	連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】						合計	うち子ども			主な世代
							46人	0人			60代
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	7～1月	2回	【実施日】 令和6年7月18日 ～ 令和7年1月22日			【今年度の実施状況】 講師との事前打合せを行ったため、円滑な事業運営ができた。参加者を増やすため効果的な周知を行う必要がある。	【次年度の方向性】 今後もDX化を進めるにあたり、必要な講座であることから、継続とする。	
	【連携実績】						【参加者数】				
	連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】						合計	うち子ども			主な世代
	1 ハヤブサドットコム						25人	0人			70～代
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	とみや再発見【CKP】	富屋小学校に学ぶ児童が、自分たちの住んでいる地区の自然や歴史、文化、産業などについて自ら調べ、学習能力を高めるとともに、地域の素晴らしさや魅力を学び、郷土愛の心を育てる。	富屋小学校児童	12～2月	4回	【実施日】 令和6年10月31日 ～ 令和7年2月5日			【今年度の実施状況】 富屋小の5年生が、学習のテーマを自分で決め、地域の文化や史跡を調べ成果を発表した。	【次年度の方向性】 生涯学習センターと富屋小学校が連携し、富屋地区の歴史や文化財を子どもたちに学ばせ、郷土愛を育む貴重な場であるため継続とする。	
	【連携実績】						【参加者数】				
	連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】						合計	うち子ども			主な世代
	1 富屋小学校						76人	76人			10代
	タコづくり講習会	子どもたちの遊びの主流がゲームになっている現代において、地域の伝統的な遊びである凧あげを体験するための凧を自ら作成することにより、豊かな心と想像力を育むとともに、下野凧を後世に伝える。	富屋小学校児童	11～12月	2回	【実施日】 令和6年11月18日 ～ 令和6年12月8日			【今年度の実施状況】 小学生にタコづくりを教えるため、育成会執行部が複数のタコの作り方を習得したため、円滑な事業運営ができた。	【次年度の方向性】 今後も地域の伝統的な遊びである凧あげを自ら作成することにより、下野凧を後世に伝えていく。	
	【連携実績】						【参加者数】				
	連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】						合計	うち子ども			主な世代
	1 富屋地区青少年育成会						38人	33人			10代
	親子ふれあい教室「富屋ママたち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	就園前の乳幼児とその保護者	6～8月	3回	【実施日】 令和6年6月28日 ～ 令和6年8月30日			【今年度の実施状況】 地区内には就園前の乳幼児が少ないことから、効果的な募集方法を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 受講者へのアンケートでは満足度がとても高く、親子のふれあいを深める機会の提供ができることと、同じ年代の子や親同士が交流できる機会作りに繋がることから、継続して開催していく。	
	【連携実績】						【参加者数】				
	連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】						合計	うち子ども			主な世代
							57人	29人			30代
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 富屋生涯学習センター主催講座「とみや再発見」と「富屋小学校5年生の総合学習のフィールドワーク」時への引率及び説明を富屋小学校地域協議会メンバーとともに			【今年度の実施状況】 事前に小学校や引率者などと入念な打ち合わせを行ったので、円滑に事業を実施することができた。	【次年度の方向性】 今後も継続して、支援・協力を行っていく。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
つ③ な地 げ域 る理 仕解 組を み進 充す る講 座と 学ん だ成 果を 活動 に	◎とみや魅力発見 ガイド養成講座	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して、自分の住む地域の特徴を理解し、地域の魅力や課題に気づくとともに、中長期的な地域のあるべき姿を考える契機とする。また、これらを後世に伝えるために、地域以外の住民にも広く受講者を募り、解説できる人材を育成する。	富屋の自然・歴史・文化財に興味のある方	6～7月	5回	【実施日】 令和6年6月6日 ～ 令和6年7月10日			【今年度の実施状況】 徳次郎石の歴史と文化などの地域の魅力を取り扱う講座を実施した。今後も多くの人に受講してもらえるよう、地区内外にPRを継続していく。		【次年度の方向性】 地域の魅力を伝える人材育成に繋がっているため、継続とする。	
	二十歳を祝う成人のつどい	成人（二十歳）が地域の人とともに成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	【今年度の実施状況】 ・「成人のつどい応援制度」の協力を地域団体のほか企業にも依頼した。 ・配慮が必要な富屋特別支援学校卒業生は、親同伴で式典に参加している。 ・実施委員と協力し円滑に実施した。		【次年度の方向性】 成人（二十歳）が地域社会の一員として自覚を持てる事業となるよう引き続き地域交流事業を実施する。	
る④ 地持 域続 教的 育に の地 域盤 住の 民強 の学 習や 活動 ・交 流を 支援 す	とみやふるさとまつり	地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。	富屋生涯学習センター利用団体及び地域住民	11月	1回	出展団体数	延来場者数	特色	【今年度の実施状況】 とみやふるさとまつりとして、作品展示や発表、屋外各種イベント、福祉関係団体等の出展、農業関係の野菜の販売や無料配付を行っている。		【次年度の方向性】 次年度もスローガンの郷土愛を育むため開催していく。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・生涯学習登録団体の一覧や施設利用の案内等を作成し、問い合わせの際に活用した。 ・生涯学習団体の募集ポスターなどを掲示し情報提供を行った。			【今年度の実施状況】 生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。		【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習登録団体活動の情報提供やポスター掲示を行う。	

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズを捉えた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績 評価 今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	★スマホステップアップ講座	「スマホ基礎講座」の受講生等へのステップアップ講座として、行政サービスの利用やLINEなどのSNSを活用するために必要な基本操作を学ぶとともに、ネット詐欺やウイルス感染などのセキュリティに係る知識を習得する。	地区内の一般成人	11月	1回	【実施日】 令和6年11月6日 ～ 令和6年11月6日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業 学校含む)】 1 宇都宮大学	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 7人 0人 70代	【今年度の実施状況】 定員の半数程度の申込みしかなかったが、参加者の満足度は高い講座を開催することができた。	【次年度の方向性】 スマホ基礎講座の受講者にLINE等のSNSの使い方を覚える機会を提供することは、市民のデジタルデバインド対策として有効であることから、次年度も継続していく。
	とよさと元気塾	超高齢社会において、シニア世代が豊かで潤いのある人生を送れるよう教養や知識を身に付け、健康で元気に生活することを目指す。	地区内在住の成人(60歳以上)	6～10月	5回	【実施日】 令和6年6月18日 ～ 令和6年10月15日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業 学校含む)】	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 107人 0人 70代	【今年度の実施状況】 健康づくりや特殊詐欺、音楽療法など、多様なテーマを提供することで、受講者の満足度が高い講座を開催できた。防災対策を学ぶ機会として組み込んだ「マイタイムライン」を作成する講座も好評であった。受講者から体を動かす講座を取り入れてほしいとの意見があったことから、座学ばかりにならないように体を動かすような講座を組み込む必要がある。	【次年度の方向性】 シニア世代を対象とした講座であり、ニーズが高いことから、プログラムを見直しながら次年度も継続していく。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	8～1月	2回	【実施日】 令和6年8月21日 ～ 令和6年1月20日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業 学校含む)】 1 ハヤブサドットコム	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 30人 0人 70代	【今年度の実施状況】 スマホの基本操作やWEBサイトの検索方法などを覚える機会を提供することができた。	【次年度の方向性】 身近なスマートフォンの基本操作やWEBサイトを活用した情報収集の方法などを学ぶ機会を提供することは、市民のデジタルデバインド対策として有効であることから、次年度も継続していく。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て広場	音楽鑑賞を通して、親子で音楽を楽しむながら、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むきっかけとする。	就学前の幼児とその保護者	7～10月	2回	【実施日】 令和6年7月16日 ～ 令和6年10月25日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業 学校含む)】	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 60人 31人 30代	【今年度の実施状況】 コンサートは定員を超える参加者数があったが、近年参加者数の減少が続いており、ニーズを捉えた見直しが必要。	【次年度の方向性】 親子で楽しむプログラムは民間や幼稚園、保育園でも開催されていることから廃止とする。(課題解決プログラムの「親子講座」に集約)
	◎親子講座	子育て中の母親が抱える子育ての悩みや心配事、また、ライフプランなども含めて、様々なことを語り合い、それぞれの持つ問題を解決していく糸口を見いだせるようにする。また、今までどおり、託児を付けて、安心して講座に参加できるようにする。	市内在住の1～3歳児の保護者	9～10月	4回	【実施日】 令和6年9月19日 ～ 令和6年10月31日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業 学校含む)】	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 17人 0人 30代	【今年度の実施状況】 託児を付け、講座内容の再構築を図り、乳幼児の保護者の参加を促したが、定員に満たなかった。乳幼児の保護者を対象とするには、子育て世代のニーズの把握や分析が必要であると感じた。	【次年度の方向性】 乳幼児の保護者を対象としていたが、託児を付けても参加が難しいと感じている保護者が多いと思われる。乳幼児保護者世代の支援は他課でも開催されていることもあり、対象世代を小学生の保護者に変更し、ニーズに応じた講座内容を提供する。
	わくわく体験教室	子どもの頃の体験や多くの人とのお会いが、生きる力を育み人間力の向上を培うことから、学校、学年、学級を超えた仲間との交流や、生活体験 社会体験を通して自ら考え行動できる青少年の育成を図る。	地区内小学校4・5年生	6～10月	5回	【実施日】 令和6年6月8日 ～ 令和6年10月5日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業 学校含む)】 2 本田技研 帝京大学	【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 68人 0人 10代	【今年度の実施状況】 小学生向けには大変好評な内容の講座だったが、小人数だったがより理解しやすい講座になった。今年度は募集した人数の割に応募人数が少なかった土曜日開催が多かったため、夏休み期間に開催しても良いかと考える。	【次年度の方向性】 土曜日を含め夏休み期間中に開催し、小学生の参加を促す。
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 豊郷中学校地域協議会の作成する「学校園カレンダー」を地域へ配布協力を行っている。	【今年度の実施状況】 豊郷中学校地域協議会の作成する「学校園カレンダー」を地域へ配布	【次年度の方向性】 協議会からの要請や依頼に応じて、今後も支援を行っている。			

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績 評価 今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	まほろば探検塾	地域の歴史や文化を学ぶことにより、郷土への関心や愛着心を高め、地域の持つ魅力や課題に気づくとともに、まちづくり意識の高揚を図り、地域活動のきっかけとする。	地区内在住の成人	9～12月	4回	【実施日】 令和6年9月18日 ～ 令和6年12月11日		【今年度の実施状況】 今年度は地域で頑張る農業者や地域解決のために活動するNPO法人の取組と豊郷の歴史に関するプログラムを組んだところ、受講生からは高い評価をいただいた。アンケートで現地を巡ってみたいという声があったので、プログラムに工夫が必要。	【次年度の方向性】 受講希望者が多く評価も高いため継続とする。
						【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業 学校含む）】			
							【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 144人 0人 70代		
	◎防災力UP講座【CKP】	地震や風水害など、突然起こる自然災害に関する知識を習得するとともに、防災に関する意識の醸成を図り、地域防災力の向上を目指す。	地域団体の役員等	8月	1回	【実施日】 令和6年8月11日 ～ 令和6年8月11日		【今年度の実施状況】 地域団体役員を対象として、地区防災計画改定の一助となる「地域タイムライン」の作成講座を開催したことにより、災害発生時における地域団体役員等の動きを共有を図ることができ、地域の防災体制強化につながる講座を開催することができた。	【次年度の方向性】 地域の防災に係る課題解決に向けた取組を考える機会を提供できるよう、地域防災計画（地域タイムライン）を活用した講座の開催を次年度も継続していく。
						【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業 学校含む）】 3 豊郷地区防犯会、豊郷地区連合自治会、豊かなまちづくり推進協議会			
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 28人 0人 70代			
	二十歳を祝う成人のつどい	成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域と繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施委員会実施回数 豊郷 25人 2回	【今年度の実施状況】 成人代表の希望を取り入れ、クラス担任の恩師に加え、当時の校長先生を来賓として招待した。 成人代表と式典等における役割を綿密に打ち合わせしたことにより、写真撮影時の集合や会場からの退出等を円滑に実施することができた。	【次年度の方向性】 成人代表の希望を取り入れながら、心に残るつどいとなるよう取り組んでいく。	
地④ 域持統育的のに基盤の住強民化の学習や活動・交流を支援する	豊郷まつり（センター文化祭）	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供する。	豊郷生涯学習センター利用団体	11月	1回	出展団体数 延来場者数 特色 20団体 1500人 地域文化の向上と主体的な地域づくりの推進及び地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的としている「豊郷まつり」と同時開催とすることにより、より多くの市民に生涯学習団体の成果を発表することができている。	【今年度の実施状況】 「豊郷まつり」における「とよさとのうた」のお披露目の相乗効果もあり、多くの市民が生涯学習団体の成果発表を観覧し、大変盛況であった。	【次年度の方向性】 生涯学習活動団体の成果がより多くの市民に発表できる機会を提供できるよう、今後も「豊郷まつり」との同時開催を継続していく。	
	情報収集 提供	市民の主体的な学習活動を啓発支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 センター内に他センターや県などの生涯学習事業のチラシの配架や、ポスターの掲示を行い、来館者に情報提供を行っている。 また、生涯学習団体や地域団体向けに掲示用パネルを設置し、団体自ら情報提供できる場を提供している。	【今年度の実施状況】 生涯学習に関するチラシやポスターを配架掲示し、市民に情報提供を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内で民間学習事業者や生涯学習に関わる団体等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。	

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、◎：令和6年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
業場①の地推進生活住の民向上学習意欲の事高	輝き人生教室	余暇の有効活用、健康の維持促進、世代間交流を通して、健康で生きがいのある生活ができる力を身につける。	地域の高齢者	8～1月	7回	【実施日】 令和6年8月26日～ 令和7年1月17日		【今年度の実施状況】 小学校と連携し、昔あそびや手打ちうどんづくりなどの講座を通じて、高齢者と児童がふれあいなから学べる場を提供することが出来た。参加者については、高齢者が主体であることから、参加増員よりも現状維持に努めていく必要がある。	【次年度の方向性】 小学校児童とのふれあい学習は、重要であり、小学校からも依頼があることから継続して開催する。
	【連携実績】		連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】		【参加者数】				
	1 篠井地区松寿会連合会		合計 うち子ども 主な世代		150人 86人 70代				
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	ワクワク子育て仲間づくり	親子の絆や愛情を深め、心身の健康を育むとともに、受講生同士の交流を促進し、仲間づくりや子育てに必要な情報を提供する。	市内在住の乳幼児とその保護者	6～3月	10回	【実施日】 令和6年6月27日～ 令和7年3月12日		【今年度の実施状況】 広報紙やチラシにより呼びかけを行うことで、参加者の維持・確保をすることが出来た。また、講座を通じて、参加者同士の横の繋がりを作ることが出来た。また、アンケートの結果については満足度の高い内容で講座を実施することが出来た。	【次年度の方向性】 参加者の維持継続に努めるため、引き続き、市全体に呼びかけを行っていく。また、参加者のニーズに沿った内容で講座を企画・運営していく。
	【連携実績】		連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】		【参加者数】				
	1 篠井地区松寿会連合会		合計 うち子ども 主な世代		113人 61人 30代				
少年大空教室	少年大空教室	日常生活では経験できない多様な学習・体験を通じ、自主性や好奇心、考える力を養うとともに、他者との交流を通じて協調性や社会性の育成を図る。また、講座をとおして、参加者に篠井地区の魅力を発信する。	地域の小学生とその保護者	8～1月	4回	【実施日】 令和6年8月3日～ 令和7年1月26日		【今年度の実施状況】 今年度、林業大学の開校により、学校の協力を得て共催で講座を開催することが出来た。また、冒険活動センターと共催の講座も体験を通して、篠井の良さを知ってもらえる良い機会であった。なお、定員に満たない講座もあり、周知方法や講座の内容を工夫し、検討していく必要がある。	【次年度の方向性】 参加者の維持継続に努めるため、引き続き、市全体に呼びかけを行っていく。また、林業大学や冒険活動センターの共催については、講座を通じて地域への関心や仲間づくりができることから、引き続き講座に組み込んでいく。
	【連携実績】		連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】		【参加者数】				
	1 栃木県林業センター・栃木県林業大学校		合計 うち子ども 主な世代		59人 27人 10代				
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 ・児童の登下校時の見守り活動への支援・協力を行った。		【今年度の実施状況】 ・児童の登下校時の見守り活動への支援・協力を行った。	【次年度の方向性】 ・今後も継続して、児童の登下校時の見守り活動への支援・協力を行っていく。
	【連携実績】		連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】		【参加者数】				
	2 栃木県林業センター・栃木県林業大学校		合計 うち子ども 主な世代		92人 0人 70代				
げ③地域仕組みの促進する講座と学んだ成果を活動につな	◎地域力アップ教室	地域をより一層成長させるために地域を確認し、地区内にある資源・文化伝統等を新発見し、地域ビジョンの実現へと繋げる。 ※講座の一部を「スマホ基本講座」とし、市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器への使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域住民および市内在住の一般成人	8～3月	8回	【実施日】 令和6年8月1日～ 令和6年3月24日		【今年度の実施状況】 今年度、林業大学の開校により、学校の協力を得て共催で講座を開催することが出来た。人気の講座であり、申し込み多数となった。また、国際理解講座の料理教室についても人気が高く、同様に申し込み多数となった。課題として、地域住民が積極的に参加できるように周知方法や地域のサークルとの共催など参加者が意欲的に参加するための工夫を継続的に行う必要がある。	【次年度の方向性】 参加者の維持継続に努めるため、引き続き、市全体に呼びかけを行っていく。また、林業大学校との共催については、講座を通じて地域への関心や仲間づくりができることから、引き続き講座に組み込んでいく。今後も参加者のニーズや地域力を高めるため、内容を工夫して開催する。
	【連携実績】		連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】		【参加者数】				
	2 栃木県林業センター・栃木県林業大学校		合計 うち子ども 主な世代		92人 0人 70代				
二十歳を祝う成人のつどい	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳となった成人が地域の人とともに式典を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、二十歳となった成人が地域の人から学べる場、地域へ響かせる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人(二十歳)	1月	1日	【実施日】 令和6年1月1日		【今年度の実施状況】	【次年度の方向性】
	【連携実績】		連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】		【参加者数】				
	1 篠井地区松寿会連合会		合計 うち子ども 主な世代		150人 86人 70代				

今年度は富屋生涯学習センターが担当

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針					
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針	
支④ 援持 す続 る的 地 域 地 教 育 住 民 基 の 盤 学 の 習 強 化 活 動 ・ 交 流 を	篠井生涯学習センター文化祭	篠井生涯学習センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。	篠井生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	出展団体数	延来場者数	特色	【今年度の実施状況】 今回は「宮PASS」を掲示した先着400名に模擬店で使用できる100円引き券を配布。またアトラクションやメインの大抽選会も地域の来場者で賑わっており、円滑に開催することが出来た。	【次年度の方向性】 作品展やホール部門について、生涯学習団体および地域関係団体ほか、地域住民から参加を募るほか、「秋まつり」で運営する模擬店や文化祭と共催のアトラクションなども地域全体で盛り上げていく。	
					23団体	700人	篠井生涯学習センター対象地域住民総ぐるみにより文化祭事業を展開し、地域文化の向上発展と生涯学習推進、地域住民の連携意識の高揚を図り、ゆたかて活力あるまちづくり				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例			【今年度の実施状況】	【次年度の方向性】	
						<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター内に設置している掲示板へ民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供。 			<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター内に設置している掲示板へ民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、生涯学習センター内で民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 今後も継続して、生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供する。 	

<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用を努める。</p>

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績		
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	にこにこシニア	健康や生きがいづくりに係る知識の習得や運動等を体験し、家庭内でも手軽に実践できるよう、シニア世代が健康で充実した毎日を過ごすためのきっかけづくりを図るために開催する。	地区内の60歳以上の一般成人	7～11月	6回	【実施日】 令和6年7月25日 ～ 令和6年11月28日	【今年度の実施状況】 高齢者の健康づくり、防犯講習、スポーツレクリエーションをテーマに6回開催。参加者からは概ね好評だった。	【次年度の方向性】 定員を超える申込みのある講座であり、ニーズの高さが伺える。参加する高齢者に負担のないよう日程やテーマを勘案し、次年度も継続して開催する。
	ヘルシー料理教室	家庭内で料理を手軽に取組むことができ、健康増進に繋がる調理実習を地域健康づくり団体と連携して企画し、家庭内の充実を図るために開催する。	地区内の一般成人	8～2月	4回	【実施日】 令和6年8月1日 ～ 令和7年2月13日	【今年度の実施状況】 昨年度と同様に16名の参加希望者を募り4回開催。昨年の反省を踏まえ情報の周知を見直した結果、各回、定員を欠けることなく開催することが出来、参加者からは好評だった。	【次年度の方向性】 地域から一定のニーズがある講座のため、継続して開催する。
	目指せ！姿人（すかたびと）講座	厚生労働省において、毎年3月1日から8日までの期間、「女性の健康週間」と定め女性の健康づくりを国民運動として展開している中、姿川地区においても、女性の心と身体の健康増進とともに幅広い世代の利用促進を図る。	市内在住の成人女性	3月	1回	【実施日】 令和7年3月1日 ～ 令和7年3月1日	【今年度の実施状況】 美しく見える立ち振る舞いや自分の骨格・体形に似合う服装等についてウォーキング講師による講座を実施した。	【次年度の方向性】 毎年ニーズのある講座であるため、継続して実施する。
	スマートフォン初心者向け講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	9～1月	2回	【実施日】 令和6年9月4日 ～ 令和7年1月27日	【今年度の実施状況】 各回募集20名に対し、約3倍の応募があり、いずれも抽選で受講生を決定したことから、市民ニーズが多いことが伺えた。このニーズに答えるため、講座回数の増加を検討していく必要がある。 また、受講した方々からは、スマートフォンの操作を覚えることができたことと好評であった。	【次年度の方向性】 今後のデジタル化の推進の最初のステップとなることから、市民ニーズと共に、講座を主導しているみんなでまちづくり課の意向を踏まえながら事業を進めていく。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	★お絵描きアート講座	お絵描き創作の楽しさに触れながら、姿川地区をイメージするアートを制作し、地域の魅力に気付くきっかけとする。また、画材に未使用の飛沫防止シートを使用してアップサイクルにつなげる。(SDGs)	姿川地区内の小学5・6年生	8月	2回	【実施日】 令和6年8月17日 ～ 令和6年8月24日	【今年度の実施状況】 ・他で開催しているようではない講座企画となっている。小学高学年を対象に飛沫防止シートを活用しSDGsを学ぶこともできた。 ・夏休みの土曜日の開催だったか曜日の設定を変えた方がもう少し参加増につながる	【次年度の方向性】 飛沫防止シートがまだあり活用ができるためSDGsを学ぶことができ、絵が好きな子どもを対象にすることで居場所づくりにも繋がればと思う
	ふるさと教室	地域団体や企業等と連携しながら、地域内の自然環境・歴史文化や工作など幅広いジャンルの学習の機会を提供することにより、子どもたちの連帯感や共同意識を醸成し、将来の地域まちづくりを担う人材に繋げる。	姿川地区内在住の小学生	10～2月	2回	【実施日】 令和6年10月16日 ～ 令和6年2月2日	【今年度の実施状況】 1回目は「地域のヒミツを探ろう！」として自治会を学ぶ講座を小学校4～6年生を対象に、2回目は「『地球おもしろ実験』と『ソーラーカー』を作ろう！」として再生可能エネルギーを学ぶ講座を、それぞれ開催した。 身近で知らない自治会の役割や必要性、また、身近でできる環境への配慮などを、子ども達の目線で行うよう努め、概ね好評であった。	【次年度の方向性】 1回目は小学校の秋休み、2回目は子どもフェスタとの同時開催で行った。 秋休みは応募がなかったことから、小学校の行事予定などを踏まえ、開催時期を再考していきたい。 なお、地域に愛着を持ってもらう講座として引き続き開催していきたい。
	親子ふれあい広場	親子のスキンシップを通して、健やかな親子関係を育むとともに、参加者同士のコミュニケーションを深め、子育てネットワークの促進を図る。	乳幼児(0～6歳)とその保護者	6～2月	8回	【実施日】 令和6年6月10日 ～ 令和7年2月19日	【今年度の実施状況】 イヤイヤ期とうまくつきあうコツなど子育て世代の参加者の悩みに沿った講座など実施し、参加者同士のコミュニケーションにも繋がりが好評であった。	【次年度の方向性】 毎年ニーズのある講座であるため、継続して実施する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 2中学校、3小学校の魅力ある学校づくり地域協議会に委員として出席			【今年度の実施状況】 各小中学校の地域協議会に出席し、情報提供等を行った。		【次年度の方向性】 地域に根差した活力ある教育力向上に取り組み団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。	
	★ワークショップ「アート・アロマ・ゆず染め」講座【CKP】	「アロマ制作」「お絵かき」「ゆず染め体験」講座を開催するとともに、参加者等が一堂に会することで、人的・文化交流を図る。	市内在住の成人	12月	2回	【実施日】 令和6年12月7日 ～ 令和6年12月14日			【今年度の実施状況】 ・暮らしに、癒しや心地よさ、華やかさをもたらす3つのワークショップを同時開催①。参加者はお気に入りのワークショップを選び②、自分らしい生活の質の向上を図ることができた ・ワークショップ終了後、3つのワークショップの講師と参加者が一同に会する交流会を実施③することにより、生涯学習講座の目的のひとつである「学びを通してのつながりづくり」の機会を創出します。多種の講座を組合せることで、多様な主体や人がつながりを深めることができた		【次年度の方向性】 受講生の評判も良く来年度もぜひとの声が多い。これからの講座の形も新しい視点や方法を取り入れていくきっかけにしたい	
	姿川歴史教室	「遺跡や文化財マップ」を盛り込んだ「姿川さんぽ」を活用し、「歴史教室」を開催することにより、地域の文化活動をPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。	地区内在住の成人	11月	1回	【実施日】 令和6年11月9日 ～ 令和6年11月9日			【今年度の実施状況】 7月17日から21日に開催した「歴史展『姿川流域の古墳たち』」を題材とし、姿川地区内の古墳の現地見学及び現地で解説を行う講座として開催した。 身近なところにある古墳の見学と解説は、参加者から好評であった。		【次年度の方向性】 地域内の「歴史」は、一定のニーズがある講座であることから、引き続き開催していく。	
二十歳を祝う成人のつどい	二十歳となった成人が地域の人とともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、二十歳となった成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	【今年度の実施状況】 ・二十歳の成人から地域の皆さまへお礼の言葉 ・恩師から二十歳の成人へのメッセージ ・二十歳の成人から恩師への花束贈呈 ・中学卒業時クラス別記念写真撮影 式典当日の運営に関し、実施委員等と密な調整を図り、ほぼタイムスケジュール通りに式典を開催。また、今年度より受付方法が電子化されたことにより、混乱が予想されたが、大きなトラブルはなかった。		【次年度の方向性】 継続して実施委員等との連携を密に図り、新成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。		
支④ 援持する継続的に地域教育住民の盤学の習強や活動、交流を	姿川生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、団体同士の交流を図るとともに、文化活動の向上と生涯学習を推進する。	姿川生涯学習センター利用団体 地区内小中学生 一般市民	11月	1回	出展団体数	延来場者数	特色	【今年度の実施状況】 ・悪天候の影響により、レイアウトの変更を余儀なくされたが、予想した以上の来場者があり賑やかな文化祭となった。 ・模擬店の販売も殆ど完売の状況であった。 ・演芸コーナーにも多くの入場者が訪れ関心の高さが伺えた。 ・自治会ブースにも多くの来場者が訪れ、自治会活動のPRに貢献できた。		【次年度の方向性】 地域の特色のあるアイディアや意見を活かし、地域住民同士が文化祭を楽しみつつ、生涯学習団体などの成果がより多くの市民に発表できる機会を提供できるよう工夫を重ねる。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供している。			【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。		【次年度の方向性】 継続して、センター内に設置している掲示板での学習情報の提供等を行っていく。	

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズを捉えた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、◎：令和6年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績評価今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	さわやか倶楽部	豊かな経験を引き継ぎ社会に活かしながら、新しい知識や趣味をもつ契機となるよう学習の場を提供し、健康で生きがいのある豊かな人生を送るための支援を行う。	雀宮地区内の60歳以上の方	6～11月	6回	【実施日】 令和 6 年 6 月 4 日 ～ 令和 6 年 11 月 19 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業学校含む）】 1 明治安田生命保険相互会社 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 214 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 本市の出前講座や企業の講座等を活用して、幅広い内容の講座できてよかった。	【次年度の方向性】 参加者の満足度が高い講座であり、リピーターの受講者も1/3ほどいるため、引き続き、これまでの実績を踏まえた、興味をもてる講座を企画するとともに、新たな受講者が増えるような講座内容も企画していく。
	ライフアップセミナー【CKP】	社会全体のデジタル化、進展するグローバル化に興味や関心を持ちながら学習できるような場を提供し、新たなライフスタイルを送るきっかけづくりや、さらには学習を通じた新たな学びを促す機会を図る。	雀宮地区内の一般成人	3月	1回	【実施日】 令和 7 年 3 月 21 日 ～ 令和 7 年 3 月 21 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 9 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 高齢者が社会全体のデジタル化に対応するため、スマートフォンの基礎を学べる講座内容を企画出来た。また、講座を通して、今後地域の高齢者がスマートフォン利用しやすくなる様、サポートできるボランティアを発掘することが出来た。引き続き、高齢者に対するフォローアップ講座や体制を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 社会のデジタル化が進む中、スマートフォンの基本的な操作は日常生活を便利にするために必要であることから、講座を継続していく。また、ボランティアのサポート体制を整えていくため、ボランティア向けの講座なども検討していく。
	雀宮の歴史を学ぶ	地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発掘し、新たな発見などまちづくり推進に向けた取組のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。また、実施においては地域行事と連携し、充実を図る。	雀宮地区の歴史に興味のある方	12月	1回	【実施日】 令和 6 年 12 月 1 日 ～ 令和 6 年 12 月 1 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業学校含む）】 1 雀宮郷土史研究会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 29 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 ほぼ募集定員を満たすことができ、満足度が高い講座を開催することができた。新たな見学場所の掘り起こしも検討する。	【次年度の方向性】 地域文化祭・収穫祭の催しとして雀宮郷土史研究会と共催で実施することにより、地域住民が地域の歴史・特色に目を向け、郷土愛の醸成に寄与しているため、継続していく。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデハイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	7～2月	2回	【実施日】 令和 6 年 7 月 8 日 ～ 令和 7 年 2 月 28 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業学校含む）】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 39 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 ・募集開始早々に定員に達したので、ニーズは高い。 ・初心者からある程度知識がある方まで混在していたので、もっと細かくレベル分けをした内容も検討する。 ・何度かスマホ講座に参加している方で、前回学んだことを忘れてしまうため繰り返し学習したいという方もいたため、みんなでまちづくり課からの提案講座であるが、可能であれば講座内容を検討していきたい。	【次年度の方向性】 ・応募者は多いので、今後も継続していきたい。 ・今年はほぼ同じ内容を、2回、別々の人を対象に行ったが、来年度は1回目、2回目とも同じ人を対象に行い、2回目は、前回のおさらいと少しレベルアップした内容を行うことも提案したい。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携協力した教育活動の推進	ちゅんちゅん親子ふれあい広場（親子ふれあい編）	親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけ、家庭教育支援の充実を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。	未就学児とその保護者	7～12月	6回	【実施日】 令和 6 年 7 月 18 日 ～ 令和 6 年 12 月 5 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業学校含む）】 1 宇都宮家庭オビニオンリーダー会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 132 人 73 人 30代	【今年度の実施状況】 毎回、参加者同志での交流がみられ、講座の目的は一定達成したと思う。また、今回、音楽鑑賞の講座を取り入れ、生で音楽に触れられる機会が得られ、好評であった。今後も、季節の行事や普段体験出来ない様な内容を企画していく	【次年度の方向性】 核家族世帯が多い中、親子のスキンシップや親同士の交流の場が必要であることから、継続していく。
	青少年セミナー	自然に親しむ活動やものづくり活動を通して、なかまとの連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。	雀宮地区内の小学生（4～6年生）	7～10月	4回	【実施日】 令和 6 年 7 月 20 日 ～ 令和 6 年 10 月 19 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業学校含む）】 3 宮島醤油(株) 宇都宮ライトレール(株) うつのみや環境行動フォーラム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 90 人 90 人 10代	【今年度の実施状況】 今年度はLRT乗車と工場見学が非常に好評であった。参加者がほぼ定員であったが、学校行事との関係で出身小学校に偏りがあったことや、家族旅行等で欠席が多い時期があったため、開催時期の検討が必要である。	【次年度の方向性】 学校の枠を越えたなかまづくりと交流を通して、地域を支える人材を育成するために、引き続き継続していく。
	ちゅんちゅん親子チャレンジ	親子で協力して取り組む体験の機会を通して、なかまとの連帯感や責任感を養い、親子の絆を深めるとともに、親同士、子ども同士の交流を通して、仲間づくりを促進する。	雀宮地区内の小学生（1～3年生）とその保護者	8月	1回	【実施日】 令和 6 年 8 月 22 日 ～ 令和 6 年 8 月 22 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業学校含む）】 1 宮島醤油(株)宇都宮工場 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 21 人 11 人 10代	【今年度の実施状況】 料理実習室の定員の関係で親子10組の募集であったが、関心が高く31組の応募があり、抽選となった。次回同様の講座を企画するときは、多くの希望者に受講してもらえる方法を検討したい。	【次年度の方向性】 今後とも親子の絆と地域内の交流を深めるため継続していく。

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績評価今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
	地域わくわく子ども塾	雀宮地区の特性を生かし、宇都宮工業高等学校や陸上自衛隊宇都宮駐屯地との連携によるものづくりや体験学習を通して、知識技術を習得することで、自立心の向上やリーダーシップの精神を育む。また、世代間の連帯感や郷土愛の精神を深め、地域づくりの礎を築いていく。	雀宮地区内の小学生（4～6年生）	7～8月	2回	【実施日】 令和6年7月30日～ 令和6年8月9日			【今年度の実施状況】 抽選を行う講座が発生したが、参加者が楽しかったと思える満足度の高い結果を得られてよかった。 夏休み期間の開催が妥当と思われるため宇都宮工業高校や自衛隊との日程調整や講座内容について早めの協議が必要と思われる。		【次年度の方向性】 地域内にある施設（宇都宮工業高校、自衛隊）と連携を図り講座を実施することによって地域を知ることにもつながることから、楽しさが味わえるような内容を企画し、継続していく。	
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 1 中学校、3小学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力支援 雀宮中央小学校の雀央サミット及び雀央フェスタに地域協議会委員として参加するなど、子どもたちとの交流も図った。			【今年度の実施状況】 雀宮中央小学校及び雀宮南小学校の総合学習（地域歴史文化等調査）への協力支援		【次年度の方向性】 今後も継続して、地域協議会の委員として協力支援を行っている。	
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	I LOVE雀宮講座【CKP】	自分の住む地域の魅力や課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。	雀宮地区内の成人	2月	2回	【実施日】 令和7年2月4日～ 令和7年2月4日			【今年度の実施状況】 募集定員（見学編）に若干満たなかったことから、より多くの方に参加してもらうため、親しみやすい講座内容や周知方法を検討する必要がある。		【次年度の方向性】 より多くの方に参加してもらい、自分の住む地域の魅力に気づいてもらうため、雀宮地区まちづくり推進協議会と連携を深めながら事業を継続していく。	
	★防災講座	地域住民を対象に、近年頻発する自然災害に関して正しい知識を身につけることにより、地域としての防災力の向上を図る。	65歳以上の一般成人	12月	1回	【実施日】 令和6年12月9日～ 令和6年12月9日			【今年度の実施状況】 募集定員に満たなかったことから、より多くの方に参加してもらうため、募集方法や開催時期を検討する必要がある。		【次年度の方向性】 地域（地区防災会）と連携し実施している講座のため、地域の意向を確認し、調整がついた際は実施する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	成人（二十歳）が地域の人とともに成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようになるなど、地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	【今年度の実施状況】 地元企業等の協力による協賛金を活用し、成人（二十歳）委員の意向をまとめ、二十歳への記念品を準備することが出来た。 地域交流事業内で、成人（二十歳）委員にスライドショーを作成してもらい、実施することが出来た。 経費と作業の削減を目的に、記念写真は地域HPに掲載し、各自がウロドという手法で行った。（写真店で写真の購入も可能） 協賛事業を活用した成人（二十歳）への記念品の配付が出来た。 実施委員会に遠方の成人（二十歳）委員が会議に参加しやすい様、対面オンラインでの開催方式を導入して対応した。		【次年度の方向性】 引き続き、実施委員会への成人（二十歳）が参加しやすい開催方法で対応していく。 実施委員からの意見を伺いながら、有意義な協賛金使途を検討していく。	
す④ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	雀宮地域文化祭収穫祭	「ふるさと雀宮」の特色ある地域文化の向上発展と豊かな農産物の収穫を祝い、地域の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	雀宮地区内一般市民 雀宮生涯学習センター利用団体 雀宮地区内小中学校等	11～12月	1回	出展団体数	延来場者数	特色	【今年度の実施状況】 来場者数が前年度と比較して増加し、模擬店等がお屋敷前に完売しているところが出るなど、新型コロナ以前の様な活気が戻ってきた。生涯学習団体の高齢化に伴い、アトラクションや展示に参加できない団体が出てきている。		【次年度の方向性】 展示アトラクション模擬店の充実を図り、従来のような賑わいと活気のある文化祭収穫祭を継続していきたい。	
	情報収集提供	市民の主体的な学習活動を啓発支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 市民の主体的な学習活動を啓発支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 →講座やイベントなどのポスターやチラシなどの配架掲示			【今年度の実施状況】 講座やイベントなどのポスターやチラシなどをセンターロビーへ配架掲示		【次年度の方向性】 市民の生涯学習意欲の向上のため、次年度も継続して、講座やイベントなどの周知を図っていく。	

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズを捉えた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考へる契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	◎スマートフォン基礎講座	地域住民の情報リテラシーの向上を図るため、スマートフォンが身近に感じる内容を含め、幅広い世代の地域住民が参加できる内容とする。	市内在住・在勤の成人	9～1月	2回	【実施日】 令和6年9月17日～ 令和7年1月24日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 20人 0人 70代	【今年度の実施状況】 スマートフォンの基本操作やWEBサイトの検索方法など、スマートフォンの初心者向けの内容で講座を開催した。ただし、受講者のレベルの差が大きく、現在のレベル以上の内容を受講したいという声もあったことから、現在の基礎講座を継続しつつ、基礎を学んだ受講者が継続してレベルアップにつながる内容を受講できる場を設ける必要性を感じた。	【次年度の方針】 本年4月から貸館予約システムを開始させるなど、行政サービスのオンライン化が進んでおり、地域住民の情報リテラシーの向上を図るためには必要となる講座であることから、引き続き講座を開催する。
	ライフアップセミナー in かみかわ	健康、生活、歴史、文化、国際交流の5つの分野を柱に、専門性を高めつつ、地域住民のニーズや時宜を反映した内容とする。	市内在住・在勤の成人	6～3月	7回	【実施日】 令和6年6月19日～ 令和7年3月6日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 ライフアップセミナー運営委員会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 188人 0人 70代	【今年度の実施状況】 受講生が関心を得られるよう、ライフアップセミナー運営委員と協議・検討し講座内容を決定しており、非常に満足度も高い講座となっている。今後も講座を地区内外に幅広く周知できるよう、更なる周知手法を検討していく。	【次年度の方針】 地域の参加者やライフアップ運営委員から強い継続の希望があり、地域の学びに大きく寄与する講座であることから、継続とする。
	★丁寧な暮らしを学ぶ	生涯学習へ興味を持つきっかけ作りとして、郷土料理づくりなど日常生活に彩りを添える内容の講座を実施し、楽しみながら学び続ける学習機会を提供する。	地区内在住・在勤の成人	3月	1回	【実施日】 令和7年3月16日～ 令和7年3月16日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 12人 -人 10代	【今年度の実施状況】 地域の女性農業士を講師に招き、地域の特産品を活用した調理実習を行ったが、親子で参加する受講者も多く、幅広い年代を対象に実施できた。	【次年度の方針】 非常に好評だったことから、生涯学習へのきっかけづくりの事業として、今後も地域の人材や団体の協力を得ながら、継続して実施する。
推② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の	◎子育て講座	上河内地区子育て支援会議と連携し、子育てや家庭教育の学びの場を提供するほか、子育て中の保護者が情報交換できる機会を提供する。	市内在住の未就学児とその保護者	6月	3回	【実施日】 令和6年6月6日～ 令和6年6月20日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 上河内地区子育て支援会議 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 47人 25人 10代	【今年度の実施状況】 今年度も、上河内地区の子育て支援に係る団体(上河内地区子育て支援会議)との共催事業として実施。参加者からの評価は概ね好評であったが、参加者のほとんどが地区外からの応募だったことから、地区内の未就学児とその保護者の参加を増やすため、更なる事業の周知策について、子育て支援会議で協議していく。	【次年度の方針】 子育て中の保護者が家庭教育について学び、情報交換ができる場を提供するほか、地区の児童施設や保健師、保育士との連携により、保護者が子育ての悩み等を相談できる場を設けることで、子育てを支援するため、継続して実施する。
	◎★上河内ふるさと講座	地区内の各種団体との共催により、地域の様々な活動や魅力に触れ、郷土愛の醸成を図るとともに、参加者同士の交流を通して、仲間づくりを促進する。	市内在住の小中学生	8～12月	2回	【実施日】 令和6年8月1日～ 令和6年12月14日 【連携実績】 連携団体数【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 上河内地区青少年育成会、上河内地区健康づくり推進員 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 8人 8人 代	【今年度の実施状況】 インフルエンザ感染拡大により、センターに集まった講座は1回になったが、地域団体(上河内地区青少年育成会、上河内地区健康づくり推進協議会)と連携して講座を開催できたほか、梵天汁など地域の食文化を学ぶ内容も取り入れることができた。	【次年度の方針】 引き続き、地域団体と連携しながら、地域の小中学生を対象に、地域の特色を伝える講座を継続して実施する。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	【今年度の実施状況】 学校経営計画に基づく評価の実施や、登下校の指導、奉仕活動への参加により、教育活動に協力した。	【次年度の方針】 地域に根差した活力ある教育力向上に取り組む、団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを把握し支援していく。

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
な③ げ地 る域 仕理 組解 みの 促進 する 講座 と学 んだ 成果 を活 動に つ	◎★上河内地域学	地域の歴史や伝統文化を次世代へ継承していくため、有識者から上河内地区の歴史、伝統文化について学び、これらを地区内外に伝承できる人材を育成する。	地区内在住・在勤の成人	3月	1回	【実施日】 令和7年3月14日 ～ 令和7年3月14日			【今年度の実施状況】 地域を流れる「御用川」をテーマに、地域の歴史や地域で起きた風水害、地域と宇都宮市中心部との関わりなどを学び、受講者からは非常に好評であった。		【次年度の方向性】 地域の歴史や伝統文化を次世代へ継承していくため、引き続き実施していく。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新たに二十歳となった成人が、地域の人とともに式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、二十歳の成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業とする。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日	【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 宇都宮大学農学部教授 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 45人 -人 60代			【今年度の実施状況】 郷土愛の醸成に留意し、上河内地区の授産施設との協力により、地域の特産品であるゆずを使用した菓子を二十歳の成人へ配布した。 会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。また、タブレットを活用したスマホ受付により、受付業務が簡素化された。		【次年度の方向性】 継続して実施委員等と連携を図り、二十歳の成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育めるよう式典を開催する。	
援④ す持 る続 地的 域に 教育 域の 住民 盤の 学習 化や 活動 、交 流を 支	上河内地区文化交流祭	地域の幼稚園、保育園、小中学校の児童生徒及び生涯学習センター利用団体の作品を一堂に展示し、またセンター利用団体をはじめ地域の方々が日ごろの学習成果を発表することにより、地域文化の向上と生涯学習推進の機会とする。	上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	出展団体数	延来場者数	特色	【今年度の実施状況】 来場者を増やすため、文化交流祭を収穫祭およびスポーツフェスティバルとの同日開催とした。		【次年度の方向性】 今後も地区内の各種施設や団体と連携し、地域全体で地域文化の向上と生涯学習推進の気運を高めていく。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。			【今年度の実施状況】 生涯学習に関する掲示板を設置し、センターや地区内施設が実施する生涯学習講座を案内するほか、市や近隣自治体の美術館、博物館等の企画展の情報、希望する生涯学習団体の情報を提供している。		【次年度の方向性】 引き続きセンター内に生涯学習に関する掲示板を設置し、センターや地区内施設が実施する生涯学習講座を案内するほか、市や近隣自治体の美術館、博物館等の企画展の情報、希望する生涯学習団体の情報を提供していく。	

基本方針	
<p>市内各地域における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズを捉えた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を構築する契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績			
業① 地域推進住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事	◎かがやくセミナー	受講生がお互いの連帯感を深め、学び合い生き甲斐のある豊かな人生を過ごす力を身につける「仲間づくり」と地域活動等に関心を持つきっかけづくりを推進する。※館外学習あり	市内在住・在勤している成人の方	1月	1回	【実施日】 令和 7 年 1 月 28 日 ~ 令和 7 年 1 月 28 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 19 人 0 人 70代			【今年度の実施状況】 ・昨年とは違う角度から地域の課題である高齢者の交通安全を重視した講座を開催した。 ・高齢者の満足度は高かった。 ・いきいき河内発見講座と違う内容で講座を企画する必要がある。 【次年度の方向性】 河内地区まちづくり協議会での地域資源等を活用した講座ではなく、地域に密着した課題を内容とした講座を開催する。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	8~2月	2回	【実施日】 令和 6 年 8 月 26 日 ~ 令和 7 年 2 月 27 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 20 人 0 人 70代			【今年度の実施状況】 ・スマホの基本操作、検索方法などを覚える機会を提供することができた。 ・受講者もすぐに定員となり、人気のある講座である。 ・3週間前に、自治会回覧での周知を行ったが、自治会での回覧に時間差があり、申込開始日以降に見た市民の方もいたことから、回覧するタイミングを見直す必要がある。 【次年度の方向性】 あらゆる場で、スマホを活用したサービスや情報収集など、日常生活を送るのに必要な物となっていることから、学ぶ機会を提供するため、継続する。
推② 進家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の	子育て広場	子育ての学習を通して親子のふれあいを深め、情報交換の場を提供し、「仲間づくり」や「ネットワークづくり」を推進するとともに、新たに両親が参加できる仕組みを取り入れる。※相談タイムあり	1歳以上の乳幼児と保護者	7~9月	2回	【実施日】 令和 6 年 7 月 23 日 ~ 令和 6 年 9 月 14 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 24 人 13 人 30代			【今年度の実施状況】 ・リトミックや土曜日の開催を積極的に取り入れた運動会など親子で楽しめる内容で志願の父親の参加があったが、参加者が少なかったため、周知方法を見直す必要がある。 ・参加者からは、満足度が高く好評だった。 【次年度の方向性】 ・親子でふれあえる機会や若年層のコミュニケーションの場として継続する。
	オモシロ夏休み	子どもたちが「学ぶ楽しさ」を感じ、子どもたちの「自ら考える力」をはぐくむとともに、「仲間づくり」を推進する。	市内在住・在学の小学4年生~6年生	12~1月	2回	【実施日】 令和 6 年 12 月 15 日 ~ 令和 7 年 1 月 26 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 河内地区まちづくり協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 36 人 28 人 10代			【今年度の実施状況】 ・周知方法（HP掲載）を見直したことから参加者増加傾向であった。また、河内地区まちづくり協議会と連携した講座も実施できた。 ・今以上に地域の小中学生の参加を増やすことが必要である。 【次年度の方向性】 子どもたちが仲間づくりの楽しさを学ぶとともに、学習意欲の向上を図るため、継続する。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和6年度活動事例 ・魅力ある学校づくり地域協議会主催の古里・田原未来塾への支援 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行った。 【次年度の方向性】 継続的な支援を行っていく。			
げ③ る地域組理解を促進する講座と学んだ成果を活動につな	◎いきいき河内発見講座	河内の地域資源を学ぶことによって地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持つきっかけづくりを推進する。	市内在住・在勤している成人の方	6~9月	2回	【実施日】 令和 6 年 6 月 15 日 ~ 令和 6 年 9 月 28 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 河内地区まちづくり協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 65 人 0 人 70代			【今年度の実施状況】 ・河内地区まちづくり協議会との連携を図り、学習目標に沿ったテーマを検討することができた。 ・引き続き、魅力ある新たな地域資源を活用した講座を取り入れる。 【次年度の方向性】 次年度も、まちづくり協議会と共催事業とするため、継続する。
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳の成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	各1日	【今年度の実施状況】 集合写真等写をQRコードから申し込めるようにして、成人（二十歳）による写真送付用封筒の宛名書きの負担をなくすることが出来たとともに、その分の時間を地域交流事業に有効に活用することが出来た。 毎年、地域の協力者が減少傾向にあることから職員負担が増加している。 電子受付については、多少問題はあったが、人員が減少傾向にある河内としては有効的であった。 【次年度の方向性】 引き続き、関係課と連携を図り、更なる職員の負担軽減に努め、安定した式典等の運営を行っていく。			

重点項目	事業名	事業の概要				令和6年度事業実績・評価・今後の方針					
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針	
						出展団体数	延来場者数	特色			
援④ す持 る続 地的 域に 教地 育域 の住 民盤 の学 習強 化 活動 、交 流を 支	河内地域文化祭	河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	団体及び一般市民	10月	1回	24団体	100人	河内地域内の芸術文化活動に係る人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、文化の祭典を実施することで地域の芸術の向上に取り組む。	【今年度の実施状況】 河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施した。	【次年度の方向性】 引き続き、河内地域内の文化の祭典を支援していく。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和6年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供するため、センター内、学習事業者などのチラシやポスターを掲示。 ・生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供。			【今年度の実施状況】 ・相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなど行っている。	【次年度の方向性】 ・継続的な支援を実施する。	